名古屋大学大学院工学研究科

国際交流室報

International Academic Exchange office

Annual Report

2021– 2022

International Exchange Committee
International Academic Exchange office
Graduate School of Engineering
Nagoya University

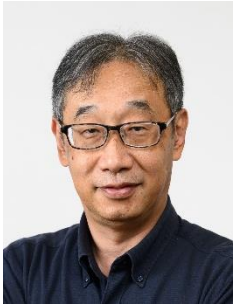
名古屋大学大学院工学研究科学生支援・国際交流委員会
名古屋大学大学院工学研究科国際交流室
https://int-office.engg.nagoya-u.ac.jp/

目次

巻頭言 ― 多様化する国際交流 ―(鈴木 達也) ..... - 3 -
国際交流室の活動について(戸田 祐嗣) ..... - 4 -
令和3年度国際交流室活動の現状(古谷 礼子) ..... - 5 -
サマープログラム(NUSIP)の紹介ビデオ制作(合田 由美子) ..... - 7 -
工学研究科における国際交流の状況について ―工学研究科関連学術交流協定一覧―(市川 剛) - 9 -
大連理工大学との協定締結5周年記念イベント(曾 剛) ..... - 13 -
令和3年度 「Speaking & Writing 講座」(レレイト エマニュエル) ..... - 14 -
令和3年度 派遣留学説明会(曾 剛) ..... - 15 -
令和3年度 「Technical Writing」(レレイト エマニュエル) ..... - 16 -
令和3年度 「工学概論 III」(グリブ ディーナ) ..... - 17 -
令和3年度 留学生の防災意識と防災対応力の向上に関する取り組み(レレイト エマニュエル) ..... - 18 -
令和3年度 グローバル理工系人材のためのキャリア形成支援事業(グリブ ディーナ) ..... - 19 -
英語による留学生向けものづくり公開講座の報告(井上 剛志) ..... - 20 -
名古屋大学工学部国際交流室杯英語スピーチコンテスト(グリブ ディーナ) ..... - 21 -
「日米加協働教育プログラム」 その9(梅原徳次、巨陽、野老山貴行、松本敏郎、伊藤靖仁) ..... - 22 -
留学体験記:Findings through JUACEP in UCLA(寺井勇裕) ..... - 24 -
海外渡航助成制度による研究活動報告 ..... - 25 -
令和3年度交換留学による派遣留学生 ..... - 32 -
令和3年度短期留学推進制度(受入)による外国人留学生 ..... - 33 -
授業料を不徴収とする大学(部局)間交流協定締結大学一覧 ..... - 35 -
令和3年度学位取得外国人留学生論文一覧(博士後期課程) ..... - 39 -
令和3年度学部卒業留学生 ..... - 43 -
名古屋大学及び工学部・工学研究科在籍外国人留学生の変遷 ..... - 44 -
工学部・工学研究科外国人留学生数調(国・地域別) ..... - 45 -
付録 ..... - 47 -
編集後記 ..... - 74 -

巻頭言

― 多様化する国際交流 ―



工学研究科　副研究科長
鈴木 達也

コロナ禍により海外渡航が困難になって 2 年以上が経ちますが、ようやく渡航に対する規制の緩和が各国で見られるようになりました。それに伴って、徐々にではありますが、教員・学生の海外渡航の機会が増えてきています。

国際的なレピュテーションを上げる上で国際交流の果たす役割は大きく、どの大学も今後、国際交流事業のさらなる活性化に力を注いでいくことになります。本学においても、世界展開力事業「ポスト SDGs 時代の経済安全保障に貢献できる自律協働型国際プロフェッショナル人材育成」が採択され、オーストラリアの四大学（西オーストラリア大学、モナシュ大学、クイーンズランド大学、アデレード大学）との交流が始まります。また、大学の国際化促進フォーラムでは、「我が国の大学教育国際化に資するジョイント・ディグリー・プログラムの促進」プロジェクトの幹事校を名古屋大学が務め、先導的な役割を果たしています。ちなみに、現在全国で走っている 24 のジョイント・ディグリー・プログラムのうち 10 プログラムが名古屋大学で運用されています。今後公募が予定されている国際卓越研究大学への申請においても、国際交流の重要性が指摘されています。本学と戦略的パートナーシップを結ぶ大学として、シンガポール国立大学、ノースカロライナ州立大学、エジンバラ大学を選定し、リアルなキャンパスの海外設置等、国際卓越研究大学としての拠点整備に取り組んでいます。

工学部でもこれまで様々な国際交流活動を展開してきました。卒業・修了までのすべての講義を英語で提供する Global 30 国際プログラムはその一例で、その注目度は年々向上しています。また、2019 年まで毎年実施され、好評を得ていた自動車工学サマープログラム（NUSIP）は、2020 年、2021 年に続き、残念ながら本年も中止の判断をせざるを得ませんでした。しかしながら、NUSIP のプレゼンス維持をはかるため、本年度は、NUSIP の卒業生によるシンポジウム「NUSIP Alumni International Symposium」を 11 月にオンラインで実施予定で、すでに海外から多くの卒業生が参加の意向を示してくれています。

今後は現地ならではの実体験とオンラインでの交流を融合した、より多様な国際交流が展開されると予想されます。ニューノーマル時代の新たな国際交流を模索すべく、そのための体制づくりを急ピッチで進めていく必要があります。今まで以上に国際交流の本質を深く洞察し、工学部ならではの新たな国際交流活動を展開していきたいと思います。

皆様におかれましては、ぜひ多様化する国際交流活動にご理解いただき、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

国際交流室の活動について

工学研究科学生支援・国際交流委員長
戸田　祐嗣

令和 3 年 4 月より工学研究科学生支援・国際交流委員長ならびに国際交流室室長を務めております。本年度もよろしくお願いいたします。さて本室報は 2021 年度の国際交流室の活動報告となりますが、前年度（2020 年度）の新型コロナウィルス感染症拡大により縮小せざるを得なかった国際交流活動について、2021 年度は感染症拡大の様子を見ながらも、オンラインでの交流など新しい国際交流の形を模索する 1 年間となりました。依然、先を見通すのが難しい状況が続いておりますが、グローバル化が名古屋大学の重要なミッションであることに変わりはなく、国際交流室ではコロナ禍、アフターコロナでも実施可能な国際交流活動を継続して進めてきました。

海外の大学や研究機関との学術交流や共同研究については、国際交流室が中心となり、担当教員の支援、相手機関との交渉、協定の作成や延長をまとめております。2019 年 10 月から導入された Web による研究生応募支援システム（NU-ASS）の運営も軌道に乗り、研究生受け入れ手続きの統一化・簡素化がなされています。質の高い留学生獲得に向け、学術協定を締結している大学にて模擬講義や名大説明を実施する名大巡行をオンラインで実施し、高いポテンシャルを持つ留学生の呼び込みに向けた活動を積極的に実施しています。また、留学生が卒業後に日本で働くことを希望しても、就職活動あるいは就職後の社会生活で困難に直面し、帰国してしまう事例も見受けられます。留学生のキャリアパス支援として、グローバル理工系人材のためのキャリア形成支援事業を実施し、留学生の就職支援を行っています。

2021 年度は国際会議・国際学会への対面参加など、国をまたいだ人の移動は引き続き厳しい状況が続きました。そのような中、かつてより工学研究科で実施していた博士後期課程学生に対する学生海外派遣助成について、国際会議・国際学会等へのオンライン参加費を助成対象として追加し、助成事業を実施しました。また、2016 年に締結された名古屋大学・大連理工大学との全学学術交流協定が 5 周年を迎えるにあたり、松尾清一総長および大連理工大学・項昌楽書記らのご出席のもと、オンラインでの 5 周年記念式典を実施しました。また、マテリアル分野の博士後期課程にタイ国・チュラロンコン大学とのジョイント・ディグリー・プログラムの設置が認可され、2022 年 4 月より名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステイナブル材料工学専攻として学生の受入がスタートしております。

国際交流に関する長年の課題である工学部・工学研究科の学生の海外留学者数増加に向けた活動も継続して実施しています。国際交流室では、海外留学についての学生からの相談を受けたり、派遣留学の説明会をオンラインで開催したりするなど、留学支援活動を進めています。在学生の英語能力の向上に向け英語力強化講座を開講し、ネイティブ講師とのオンラインによるコミュニケーションを通じて、スピーキング、ライティング能力を中心に英語力強化を図っています。

コロナ禍またアフターコロナを見据えて国際交流室室員はこれまでにない課題に直面し、多忙を極めておりますが、今後の国際交流活動の更なる展開に向け多くの課題に取り組んでいく所存です。皆様には引き続き国際交流室の活動にご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和３年度国際交流室活動の現状

留学生担当総括教員
古谷礼子

はじめに：

コロナによるパンデミックに日本だけではなく世界が翻弄された。今まで当たり前だった日常生活が激変迫られ、令和 3 年度も大学で留学生を見掛けない非日常が続いている。11 月に入国制限が緩和されたのもつかの間で、再び新規の外国人の入国が禁止され、一昨年以来 89 名の留学生がいまだに入国できていない。日本で留学生活を送ることなく、自国の自室等でオンライン講義を受けている留学生が不憫でならない。そのような留学生と Zoom を使って少しでも繋がっていることができるよう気を配った一年間であったと考えられる。

当国際交流室も令和 2 年度同様コロナ禍により活動や事業に大きな影響があった。以下、令和 3 年の国際交流室における活動の現状を報告する。

国際交流室の活動状況：

（1）春学期の状況

令和 3 年度の入学式は新型コロナウィルス感染症拡大防止措置を講じて対面で挙行された。3 密回避のために全学部生は 4 グループに分けられ、機械・航空宇宙工学科の 1 年生は教育学部と医学部の 1 年生と共に 4 月 5 日 11 時 45 分から、その他の工学部 1 年生は同日 11 時からの入学式に豊田講堂で参加した。4 月 5 日の工学部・工学研究科留学生オリエンテーション、4 月 7 日の令和３年度春季交換留学受入れプログラム(NUPACE)開講式、4 月 28 日の「交流会」(工学部・工学研究科の新留学生歓迎会)を含む留学生を対象とした入学関連の行事は残念ながら全てオンラインで実施された。また派遣留学説明会（詳細：15 頁、「令和３年度 派遣留学説明会」）もオンラインで 4 月 26 日に開催された。NUSIP 夏期集中講座（「自動車工学における最新技術と課題」）は今年度も開催中止を免れることができなかったが、PR 動画を作成した（詳細：7 頁、「サマープログラム（NUSIP）の紹介ビデオ制作」）。

令和 3 年 4 月現在の留学生入学・辞退及び渡日状況は以下の通りである（教務課留学生係提供）。

令和 3 年 4 月 入学予定者数	152	4 月入学	102
		(内訳)　国内在住	93
		海外在住の遠隔指導を受ける留学生	9
		入学時期の変更	18
		(内訳)　5 月(以降)	13
		10 月	5
		コロナによる辞退者	32
		(内訳)　研究生等	7
		NUPACE	25

(2) 秋学期の状況

愛知県では令和 3 年 10 月から感染防止対策として「愛知県厳重警戒措置」が実施されたが、緊急事態宣言は 9 月 30 日をもって解除された。また日本政府は、2021 年 11 月 8 日から「水際対策強化に係る新たな措置（19)」に基づき、受入責任者が業所管省庁から事前に審査を受け、入国者の行動管理等に責任を持つことを前提に、(1)「ワクチン接種証明書保持者に対する入国後 4 日目からの行動制限の見直し」、(2)「外国人の新規入国制限の見直し」を行うと発表した。この結果来日できていない留学生全員が入国できるのではないかと喜んだのは束の間であった。オミクロン株対応で、日本政府は令和 3 年 11 月 30 日から新規外国人の入国を全面的に停止した。この結果当初 102 名の新留学生のうち、海外在住者 89 名は誰も来日することが出来なかった。

10 月現在の留学生入学・入学時延期・休学の状況は以下の通りである（教務課留学生係提供)。

令和 3 年 10 月 入学予定者数	102	10 月入学	69
		(内訳）国内在住	13
		海外在住の遠隔指導を受ける留学生	56
		入学時期の変更	33
		(内訳） 休学	1
		入学時延期	32

前期と状況は変わらず、G30 学部新入生理系合同ガイダンスを含む通常のオリエンテーション等は全てオンラインで開催された。授業に関しては、令和 2 年度及び令和 3 年度春学期に引き続きデジタル授業やハイブリッド授業が行われた。

(3) コロナ禍対応の活動

上記に書いたオンラインによる行事の他に、通常対面で行っていたが、オンラインに変更した行事を新たにコロナ禍対応として活動を試みた。そのうち「令和３年度　留学生の防災意識と防災対応力の向上に関する取り組み」（詳細：18 頁）は昨年に引き続き、オンラインで開催された。「令和 3 年度　グローバル理工系人材のためのキャリア形成支援事業」（詳細：19 頁）は対面とオンラインの両方で開催された。「中部地区製造業企業交流」では例年通り企業訪問が可能ではなかったため、大同メタル工業(株)のご好意により、バーチャル企業訪問を企画・開催していただけた。令和 4 年 1 月 6 日の「大連理工大学との協定締結５周年記念イベント」（詳細：13 頁）もオンラインで開催された。

コロナ禍前は対面が通常だった日本留学フェアは全て Zoom で開催された。令和 3 年度にオンラインで参加したフェアは以下の通りである。「Study in Japan Online Fair for Sub-Saharan Africa 2021」、「J-MENA オンライン留学フェア」、「日本留学フェア 2021 in Tashkent」、「国費学部留学生大学進学説明会」

今年度の新しいイベントとして国際交流室杯英語スピーチコンテスト（詳細：21 頁「名古屋大学工学部国際交流室杯英語スピーチコンテスト」）と"Let's get together informally via Zoom"を開催した。どちらもコロナ禍により家で引きこもっていると思われる学生に少しでも参加するイベントを提供するのが目的であった。

最後に：

マスクが無用になって、日常生活に戻り、日本人学生同様かけがえのないキャンパスの一員である留学生がキャンパスで日常的な楽しい語らいを自由にして、実りのある留学生活を送る日が一日でも早く来るよう切望している。

サマープログラム（NUSIP）の紹介ビデオ制作

国際交流室・室員
合田　由美子

1. はじめに

2008 年度から工学部・工学研究科が、サマープログラムとして実施してきた NUSIP（Nagoya University Summer Intensive Program）は、プログラム内容の魅力と充実さから欧米を中心とした海外大学から優秀な学生達が参加し、これまで順調に実績と成果を上げてきた。

しかし、新型コロナウィルス発生以来、2020 年度と 2021 年度と連続で NUSIP の中止を余儀なくされた。

そこで、NUSIP の継続性を保ち、かつ、さらにその認知度を高め海外に広く周知することにより、感染が収束後、これまでと同様に多くの優秀な学生の参加を促すことを目的として、NUSIP の広報用ビデオを制作することとなった。

2. ビデオ構成

ビデオは NUSIP 担当の国際機構（当時）の石田特任教授を中心に、同機構の酒井特任教授、国際交流室の教員及び教務課留学生係の担当者等で検討した結果、おおよそ以下の構成案で進めることにした。

1）オープニングムービーとして、名古屋市の位置や風景、本学のノーベル賞関係や最先端の自動車に係る研究の紹介等
2）NUSIP の概要紹介（授業内容、工場見学、エクスカーション等の様子）
3）石田特任教授によるインタビュー
4）過去の NUSIP 参加者 3 名（国籍：スウェーデン、サウジアラビア、カナダ）による感想や近況 VTR
5）国際交流室のレレイト留学生担当講師によるエンディングのインタビュー
6）使用言語は英語で長さは 10 分程度

3. 制作過程等

制作する過程で最も苦労した点は、上記 2）の概要紹介であった。というのは、最近の NUSIP 実施風景の写真は何枚も撮影していたものの、ビデオに組込む素材としての動画を撮影していなかったからである。そのため、制作したビデオがアクティブさに欠け魅力が損なわれることを案じ、これまで NUSIP で講義を担当した学内及び学外の講師に過去の授業で使用した動画を提供していただくよう依頼をした。

また、ビデオ完成後には YouTube へのアップロードも予定していたことから、肖像権等にも注意を払いながら制作を進めた。

ビデオは、NUSIP 予算確定後、2021 年の 9 月頃より構成案に着手し、業者を交え、度々検討や修正を行い 2022 年 1 月に無事完成することができた。

完成した NUSIP ビデオのオープニング

https://www.youtube.com/watch?v=vr4qlyNeZ4w

4. 関係各所からの協力

今回の NUSIP ビデオ制作にあたっては、これまで NUSIP に関係した学内外の多くの方々に大変お世話になった。

工学研究科以外にも他部局の先生方、過去に講義を担当した他大学や企業の講師の方からも動画を提供していただいた。そして、海外からは過去の NUSIP 参加者 3 名が自身の VTR を送ってくれた。また、肖像権のアドバイス等、YouTube アップロードに際しては、当部局の広報室にお世話になった。

これら多くの方々が、NUSIP のビデオ制作の趣旨を理解し快く協力していただいたことで、ビデオを完成できたことには、本当にありがたく感謝している。

5. おわりに

2022 年度に入っても新型コロナの感染拡大は収まるところを知らず、残念ながら 3 度目の NUSIP の中止が決まった。NUSIP の実施は中止となったが、NUSIP の意義を広く伝え、プレゼンス向上につなげるため、2022 年度は、“NUSIP Alumni International Symposium”を計画している。

加えて、政府の水際対策が緩和されつつあり、徐々に外国人の日本への入国が容易になってきた現在、2023 年度は実施の方向で検討を進めている。

また、これまで NUSIP に参加した海外の大学からも NUSIP 実施の有無の問合せを複数いただいており、あらためて NUSIP のプログラム内容の良さを実感しているところである。

これらの問合せに応えるためにも、今回制作したビデオを活用し、より多くの海外大学から優秀な参加者を募ることを目指している。

2023 年度は、感染対策を講じながら、関係者一同、NUSIP の再開を期するところである。

工学研究科における国際交流の状況について：

工学研究科関連学術交流協定一覧

総務課第二人事係長
市川　剛

協定校名	国（地域）名	締結年月	
		(部局間)	(全学)
ミシガン大学工学部	アメリカ	1980.5	
シェフィールド大学	イギリス		1985.1
中南大学	中国	1985.3	
シドニー大学	オーストラリア		1985.4
ブラウンシュバイク工科大学	ドイツ		1985.9
北京工業大学	中国	1986.9	
清華大学	中国		1989.3
東北大学	中国		2001.6
モスクワ大学物理学部	ロシア	1993.12	
ワルシャワ工科大学	ポーランド	1996.7	
華中科技大学	中国		1996.12
モスクワ工業物理大学	ロシア	1998.6	
コロラド鉱山大学	アメリカ	1998.7	
西安交通大学	中国		1999.1
ポンゼショセ工科大学	フランス		2002.7
慶尚大学校	韓国		1999.11

哈爾濱工業大学	中国		2002.7
浙江大学	中国		2000.2
ケムニッツ工科大学	ドイツ		2000.4
南オーストラリア大学	オーストラリア		2004.10
フリンダース大学	オーストラリア		2004.9
アデレード大学	オーストラリア		2004.10
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	アメリカ		2000.7
ケンタッキー大学	アメリカ		2008.2
韓国海洋大学校海事大学及び工科大学	韓国		2015.11
インド工科大学マドラス校	インド	2001.2	
上海交通大学	中国		2001.2
同済大学	中国		2001.2
北京大学	中国		2002.1
モナシュ大学	オーストラリア		2003.7
南京航空航天大学	中国	2003.10	
中国科学技術大学	中国		2003.10
漢陽大学校	韓国		2004.6
ロシア科学アカデミーコンピュータ支援設計研究所	ロシア	2005.2	
ルール大学ボーフム校物理天文学部及び電子情報学部	ドイツ	2011.3	
釜山大学校工学部	韓国	2006.12	
カリフォルニア大学ロスアンゼルス校工学・応用科学部	アメリカ		2008.4
バレ・グアテマラ大学工学部	グアテマラ	2008.4	
タンタ大学工学部	エジプト	2008.4	

インドネシア大学	インドネシア		2019.6
慶北大学校工学部	韓国	2009.4	
中国科学院上海セラミックス研究所	中国	2009.6	
成均館大学校	韓国		2009.7
※ダルムシュタット工科大学土木工学・測地学科	ドイツ	2010.5	
瀋陽工業大学	中国	2010.11	
※科学産業研究機構（CSIRO）	オーストラリア	2011.8	
※北京師範大学 　　減災応急管理学院・地表過程資源生態重点研究所	中国	2011.11	
アーヘン工科大学	ドイツ		2012.5
※マンチェスター大学　環境開発研究科	イギリス	2012.5	
台湾国立陽明交通大学電気電子コンピュータ工学院	台湾	2021.2	
スラバヤ工科大学	インドネシア	2013.9	
※クラーゲンフルト大学ソーシャルエコロジー研究所	オーストリア	2013.11	
ナイロビ大学	ケニア		2013.12
ヨハネスグーテンベルグ大学マインツ（マインツ大学) 物理・数学・コンピュータ学部	ドイツ	2014.10	
ワシントン大学工学部	アメリカ	2021.8	
ミシガン大学工学部高分子科学工学研究センター	アメリカ	2015.9	
ミシガン大学化学科	アメリカ	2015.11	
※デラサール大学工学部	フィリピン	2015.12	
ポーランド科学アカデミー高圧研究所	ポーランド		2015.12
ヨッフェ研究所	ロシア		2016.1
ロシア科学アカデミールジャーノフ半導体研究所	ロシア		2016.2

#クレルモンオーベルニュ大学	フランス	2018.1	
#ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｽﾞ ﾌｫｰ ﾊｲ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ ﾏｲｸﾛｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ（IHP）	ドイツ	2018.2	
ヌエボ・レオン自治大学	メキシコ	2018.2	
※天津大学建築学院	中国	2021.2	
※パドヴァ大学土木環境建築工学科	イタリア	2018.5	
#ユーリッヒ総合研究機構	ドイツ	2018.5	
ローマ大学サピエンツァ	イタリア		2019.6
#パドヴァ大学情報工学部門	イタリア	2020.2	
大連理工大学建設工程学部	中　国	2020.5	
＊オハイオ州立大学 データ変換分析研究所	アメリカ	2020.7	
マレーシアマラッカ技術大学	マレーシア	2020.9	
アルバータ大学	カナダ		2021.2
♭ミュンスター大学化学薬学部、有機化学研究所、生物化学研究所及び医薬化学研究所	ドイツ		2022.1

（2022 年 4 月 1 日現在）

※大学院環境学研究科と共同で締結されている。
#未来材料・システム研究所と共同で締結されている。
*情報学研究科、医学系研究科と共同で締結されている。
♭ 理学研究科・物質科学国際研究センターと共同で締結されている。

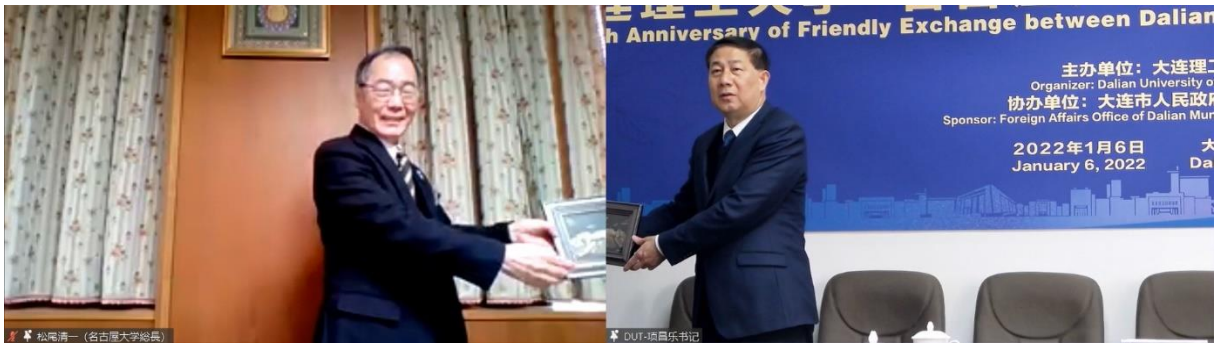
大連理工大学との協定締結５周年記念イベント

留学生専門教育担当講師
曾　剛

令和4年１月６日に大連理工大学と本学の協定締結５周年記念オンラインイベントが行われ、松尾総長、大連理工大学の項書記、日中外交関係者、200 名を超える両大学の関係職員、学生がイベントに参加した。

午前のイベントでは、まず、松尾清一総長と項昌楽書記がそれぞれご挨拶し、今までの交流実績を振り返りながら今後の更なる交流を期待した。記念品を交換した後、両大学の交流実績のある関係部局からこれまでの交流実績を紹介された。本学の部局交流代表としては、本研究科国際交流委員長の戸田祐嗣教授より工学中心の交流実績を紹介された。また、交流活動に参加した学生代表として工学部の岡田佳子さんより大連理工大学の短期プログラムの参加経験を紹介された。その他、中国交流センターの曾剛副センター長が本学の国際交流プログラムを紹介した。

午後のイベントでは、両大学の機械学科における共同人材育成に関する交流会を引き続き開催した。大連理工大学からは、国際交流担当、機械学院副院長、院長補佐、交流プログラム担当教員 3 人の計 6 人、本研究科機械・航空宇宙学科から、原進国際交流副委員長、水野幸治前国際交流委員長、巨陽教授、長田孝二教授、及び国際交流留学生担当の曾剛講師の計 5 人が参加した。交流会では、今までの交流活動や、学科の紹介、現在の各種交流プログラム及び今後の発展と課題、特に両学科が現在実施中の日本語強化クラスを対象とした短期交換プログラムについて、率直に意見を交換しながら、深く議論した。



交流５周年記念品の交換

令和３年度　「Speaking & Writing 講座」

留学生専門教育担当教員

レレイト　エマニュエル
LELEITO Emanuel

概要

本講座は工学部・工学研究科の学生の英語力全般（Reading、 Listening、 Speaking、 Writing の 4 技能）の大幅な向上を目標とし、名古屋大学工学部・工学研究科国際交流室教員と IELTS 専門講師が指導を行っています。IELTS の形式に沿った教材を用いた練習および教員からのフィードバックにより、個人では勉強しにくいスピーキングとライティングを重点的に取り扱います。採点基準やスコアの上げ方等を指導するとともに、講座後も自立して英語学習できるようにノウハウを伝授します。

内容と詳細日程

火曜日の講座（IELTS 専門講師が指導）では IELTS 英語テストの「スピーキング＆ライティング」セクションの学習方法を中心に行った。金曜日の講座（レレイトが指導）では、火曜日の講座の復習、英語でのアカデミック・ライティングとプレゼンテーション力の強化を中心に行った。

前期：【IELTS 講座１０回（火曜日 18:15 ～ 19:45)、個別相談８回（毎回日時の調整必要)】

５月の IELTS 講座： 11 日(第１回)、　18 日(第２回)、25 日(第３回)

６月の IELTS 講座： 01 日(第４回)、　08 日(第５回)、　15 日(第６回）、　22 日(第７回)、29 日(第８回)

７月の IELTS 講座： 06 日(第９回)、　１３日(第 10 回)

※必要に応じて学生と日時を調整「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施した

※派遣留学説明会（４月２６日）: 海外留学プログラムの説明・相談会を実施（海外留学室による全学留学プログラム、工学部・工学研究科の部局間協定、「オンライン留学」等の紹介、海外留学体験者の体験談、工学部・工学研究科の英語力強化講座の説明）

後期：【IELTS 講座１０回（火曜日 18:15 ～ 19:45)、個別相談８回（毎回日時の調整必要)】

11 月の IELTS 講座： 30 日(第１回)　／12 月の IELTS 講座： ０７日(第２回)、14 日(第３回)、21 日(第４回)

01 月の IELTS 講座： 11 日(第５回)　／02 月の IELTS 講座： 08 日(第６回)、　15 日(第７回）、　22 日(第８回)

03 月の IELTS 講座： ０１日(第９回)、08 日(第 10 回)

今後の予定

受講生の多くから「もっと英語で話す機会を増やしたい」という強い要望があったので、今後ネイティブレベルの英語力を持つ留学生などを数名 TA として導入することを検討する。

令和３年度　派遣留学説明会

留学生専門教育担当
講師　曾　剛

工学部・工学研究科に在籍する学生を対象に派遣留学説明会を令和 3 年 4 月 26 日にオンラインで開催した。今年もコロナウィルスの感染を配慮し ZOOM を用いてオンラインで開催した。この説明会は海外の大学・大学院留学を志す学生に留学に関する情報の提供と制度の説明をすることを目的としている。

まず、工学部・工学研究科の派遣留学制度、留学先と申請手続について国際交流室古谷礼子准教授から紹介していただいた。次に、派遣留学全体に関して、本学国際教育交流センター海外留学部門の岩城奈巳教授に説明していただいた。岩城教授には交換留学の種類（特にｉ留学）、交換留学の意義、交換留学関連奨学金、単位認定、短期研修プログラム、留学に向けての準備、学内選考と学内相談窓口等の内容について説明していただいた。最後に、交換留学の経験があるマテリアル工学科 4 年生の深見勇馬さんに留学先での体験を発表していただいた。深見さんには本学が学術交流協定を締結しているフロリダ大学での約一年間に渡る留学生活について説明していただいた。主な内容は自己紹介、留学中の様子、留学後の生活、留学の準備、留学中の授業、寮生活、食生活、課外活動について、説明していただいた。

今回の説明会には26名（博士後期課程8名、学部生18名）が参加した。参加者の専門と学年は表1に示す。

学科別参加人数

学年	物理	化学生命	電気電子情報	マテリアル工学	エネルギー理工	機械航空宇宙	環境土木建築	合計
B1	1	1	0	1	0	3	0	6
B2	1	0	0	0	0	3	2	6
B3	0	0	0	1	0	1	0	2
B4	2	0	1	0	0	1	0	4
M	0	1	1	0	0	3	0	5
D	0	0	0	2	0	1	0	3
合計	4	2	2	4	0	12	2	26

新型コロナウィルスの影響で、海外留学が実施困難な状況が続いている中、留学意欲のある学生に対して将来の準備のために必要な情報提供ができたと考えられる。

令和３年度　「Technical Writing」

留学生専門教育担当教員

レ レ イ ト　エマニュエル
LELEITO Emanuel

概要

テクニカルライティングは、名古屋大学工学部専門系関連科目として 2020 年春学期から 4 年生向けに開講した新しい科目であり、国際交流室の留学生専門教育担当教員が担当している（2021 年度はグリブ、レレイト、 曾の 3 名）。

本講義の狙いは科学技術的内容を他者に対して英語で発信するとき必要な論理的考え方とその表現手法を学び、英語での科学技術ライティングやプレゼンテーションへの応用を身に着けることである。本講義を習得することにより、論理的な考え方を理解し課題を構造化できる、問題解決に至る文書構造を理解し構成できる、科学技術論文のアブストラクトを英語で書ける、そしてこれらを英語でプレゼンテーションやディベートに応用できることを目標とする。

授業の主な内容:

1.リサーチスキル (担当:GRIB Dina)

1.1 情報収集と批判的読み

1.2 論理的思考と論理の構造化

1.3 盗用・剽窃を避けるコツ

2.ライティングスキル (担当:LELEITO Emanuel)

2.1 文書構造の理解

2.2 文書構造の構成

2.3 アブストラクトを英語で書く

3.プレゼンテーションスキル (担当:曾剛)

3.1 スピーチ原稿の作成

3.2 スライドの作成と発表

3.3 質疑応答（Q＆A）の効果的な対応方法

本講義はオンライン授業（ZOOM 利用）として実施した。2021 年度の履修生は27名でアンケート結果により、80%以上の学生が「学習の目標を達成できた」や、「授業に意欲的に取り組めた」と回答しており、遠隔講義を理解するために重要と思われる項目として、「説明テキストのついたスライド（資料）の配布」、「説明音声のついたスライド（資料）の配布」、そして「リアルタイムで講義動画中継」の項目を選んだ学生が多かった。

令和３年度　「工学概論 III」

留学生専門教育担当講師
グリブ　ディーナ

工学概論 III は、秋期開講の名古屋大学工学部専門系関連科目である。日本の最先端技術について講義および議論を行うことにより、専門知識の習得とともに技術者が果たすべき役割に対する理解を深めることを目的としており、今年度は下記のスケジュールにて同期型オンライン（Zoom）授業として開講した。

Week 1	Orientation
Weeks 2-4	Societal、 Cultural and Economic Context of Engineering Practice in Japan (Dina GRIB) - The first part of this course introduces you to the Science、 Technology and Society studies (STS) field. With a focus on industrial tourism、 it provides insights on how Japanese cultural、 economic、 societal and political tradition affects technology and vice versa. - The participants will be invited to conduct a mini case study using online materials、 share and discuss their findings in class.
Weeks 5-7	Science、 Technology and Innovations in Embedded Computing Systems (Gang ZENG) - This lecture gives an overview of the embedded computing systems related technologies in Japan. In particular、 the latest innovations on the low-energy and automotive applications will be introduced. - The students are asked to participate in group discussion to share their ideas and thoughts about energy conservation and future automobiles.
Weeks 8-10	Science、 Technology and Innovation for Disaster Risk Reduction (Emanuel LELEITO) - This lecture gives students an overview of the Scientific and Technology Innovations that have contributed to Japan's leading role in Disaster Risk Reduction (DRR). - DRR related discussions and presentation in class will help students exercise their creative thinking and problem solving skills.
Weeks 11-13	The innovative factors of technologies in Japan (Kiyohisa NISHIYAMA) - This lecture provides the participants with the concept of 40 innovation principles. Some Japanese technologies are broken down into the combination of the principles as examples. - The students each are asked to analyze a technology of interest found in Japan. The students will be able to grab the concepts of any technological innovations after completing this lecture.
Weeks 14-15	Final Presentations

タシケント工科大学からの特別聴講学生５名を含む、31 名が履修登録をしており、授業アンケートでは、「学習の目標を達成できた」や「授業に意欲的に取り組めた」等の項目で肯定的な評価がよせられた。

令和３年度　留学生の防災意識と防災対応力の向上に関する取り組み

留学生専門教育担当教員

LELEITO（レレイト） Emanuel（エマニュエル）

概要

南海トラフ地震など大規模な自然災害のみならず、日常的な大学生活の安全確保も含めて、非常時の留学生の安全対策と教育・研究および生活の維持は重要な課題である。そのためには、大学側の対策に加え、留学生の防災意識の向上や災害対応力の強化が必須となる。本プロジェクトは、言葉や文化の相違のために災害等の非常時の対応が難しいことがある留学生に対して、日本の災害・防災の現状と問題点を学ぶ機会を提供し、防災力向上に向けた自発的行動を誘発することを目的としている。このことは同時に、大学の防災体制強化や非常対応の準備にもなり、また日本の社会や文化の深い理解や地域との交流につながる。さらには、留学生をはじめ外国人に対応した防災・減災社会形成の推進に貢献することができる。

本プロジェクトは、以上の背景のもとで、近年の災害発生や日本社会の対応、留学生をとりまく状況や意識の変化などを勘案して、内容を更新しつつ 2012 年度から継続してきた。これまでに多数の留学生が参加しており、その成果は防災訓練などに活用され、地域防災の取り組みにも貢献している。今年度は、東海国立大学機構の発足に合わせ、岐阜大学の留学生を加えた新たな取り組みも企画・実施する。

実施状況：

留学生の防災意識向上、日本の防災文化の体感、災害時に役立つ知識やスキル習得を目的とした下記の防災教育活動を実施しました。

① 防災の専門家等による講座・ワークショップ（1 回、オンライン：ライブ配信）
② 名古屋大学×NHK 国際放送による防災セミナー（1 回、オンライン：ライブ配信）
③ 減災館のツアー（1 回、オンライン：ライブ配信）
④ 飛島村北拠点避難所スタディツアー（1回、オンライン：オンデマンド配信）

新型コロナウィルスの影響で対面式活動ができない状況が続き、予定していた留学生向け防災訓練、日本赤十字による救命講習等は中止となった一方、オンラインで実施可能な講座・ワークショップ・セミナーは予定通り実施しました。その一つの成果例として、NHK 国際放送と実施したワークショップの参加者が作成した「在留外国人向け防災チラシ」は全国配布されることになっています。また、東海地域の防災関連施設のスタディツアーについては、減災館のツアーをライブ配信、飛島村北拠点避難所のツアーをオンデマンド配信で実施しました。特に飛島村北拠点避難所については、地域の重要な役割を果たす日本の防災文化の体感ができる施設として、留学生が実際の現場を生で見るときの体験に近い VR 動画（避難所とその管理者の生の声と英訳の字幕）を作成し、防災施設 VR 体験システムを構築しました（https://prepared.jp/shelters/main）。今後、名古屋大学周辺の避難所をはじめ、東海地域の防災関連施設の VR 体験ができるように本システムの内容を充実させていきます。

本年度の成果を踏まえ、来年度からは例年の活動（コロナが収束すれば）を再開するとともに、今回のようなオンラインベースの留学生防災教育の充実も引き続き進めていきます。

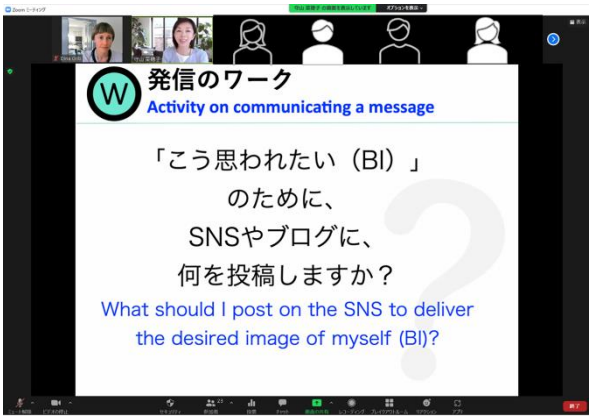
令和３年度　グローバル理工系人材のためのキャリア形成支援事業

留学生専門教育担当講師
グリブ　ディーナ

本事業は、理工系学生に特化した日本での就職支援ならびにキャリア開発のために求められる社会人基礎力の向上を目的としており、2020 年度に起案したものである。本年度は、学内各部署との連携を強化し、工学部・工学研究科および環境学研究科の地球環境科学専攻と都市環境学専攻に在籍している留学生を対象に下記のとおり実施した。

【NU キャリアサポートセンターの相談員による部局向けガイダンス】
2021 年 10 月 20 日　理工系のキャリアデザイン&就活スタートガイダンス

【学外講師による各種講座】
2021 年 10 月 26 日　コロナ禍の就活を勝ち抜くセミナー
2021 年 11 月 13 日　セルフ・ブランディング講座
2021 年 11 月 22 日　グループ・ディスカッション講座
2022 年 1 月 21 日　日本の企業に生き残るビジネスマナー講座（8名定員）



2021 年 11 月 13 日「これから社会に出る学生のため「セルフ・ブランディング」基礎講座」開催の様子

【個別相談会】
2021 年 9 月 24 日、10 月 29 日、12 月 13 日、
2022 年 2 月 28 日、3 月 4 日

【工学研究科修了生との交流会】
2022 年 3 月 12 日、 3 月 19 日、3 月 26 日

ポスター等詳細は　https://int-office.engg.nagoya-u.ac.jp/news/jobhunt/　にて公開している。

個別指導もしくは少人数のイベントを中心に、工学系の専門性と日本語力の悩みに特化した事業ではあるが、人数制限の無いイベントもあり、他部局の学生にも開放しながら、工学部・工学研究科内各専攻分野のキャリア支援担当教員との連携も図った。セミナー系は 15 名前後、「セルフ・ブランディング講座」は 40 名強の参加登録があり、本来の就職支援の枠を超えたキャリア形成・人材育成系のイベントへの関心の高さが伺えた。国際化推進教員による英訳付きで実施したセミナーでは、英語により情報を提供し、低学年の学生に対して日本語学習の重要性を早期に伝える点では、日本の就職活動への理解促進ならびに社会人基礎力の向上における教育効果があったと思われる。

英語による留学生向けものづくり公開講座の報告

機械システム工学専攻　教授
創造工学センター長
井　上　剛　志

創造工学センターの「留学生向けものづくり公開講座」は、学内に在籍する外国人が参加できる実習・体験型の講座で、スタッフによる英語でのレクチャーが好評を博し、例年7月に「エンジンモデルの分解・組立」講座を、12月に「ガラス工作」講座を実施しています。2019 年末から続くコロナ禍は依然収まらず、2021 年度の当センターの「留学生向けものづくり講座」もこの状況に即した形で実施となりました。JUACEP の留学生受入プログラムは前年に引き続き中止され、7 月のものづくり講座も中止となりました。例年留学生に大好評の 12 月の「ガラス講座」は、マンツーマン指導の為、感染対策および安全対策上の理由から企画できず、12 月は「エンジンモデルの分解・組立」講座を開講しました。感染状況が比較的落ち着いた 12 月 22 日に学内の留学生を対象に、参加者数限定で感染対策を講じた上で実施され、韓国、エクアドル、カナダ、フィリピンの留学生 4 名が参加しました。

この「エンジンモデルの分解・組立」講座は、まず IB 電子情報館北館10階の創造工学センターにおいてスタッフおよび参加者の自己紹介、危険予知と対処の説明の後、エンジンの歴史、仕組みや構造の違い等のレクチャーを受講します。そして、技術部スタッフの実演と解説、留学生 TA のサポートを受けながら、実際にエンジンモデルを一人 1 台分解と組立を実践します。その後実習工場に移動し、自分で組み立てたエンジンモデルを実際に作動させ、さらに、ジェットエンジンのデモンストレーションも体験しました。講座終了後のアンケートによれば、「大変満足であった」「友人にも勧めたい」「他の講座もあればぜひ参加したい」との感想が寄せられました。このコロナ禍で体験学習が乏しい中、安全に学びの機会を提供でき国際交流の一助となれば幸いです。

最後に、このような取り組みに対し、常に惜しみないご支援をいただいております工学研究科国際交流室のご関係者の皆様に心より感謝の意を表します。

名古屋大学工学部国際交流室杯英語スピーチコンテスト

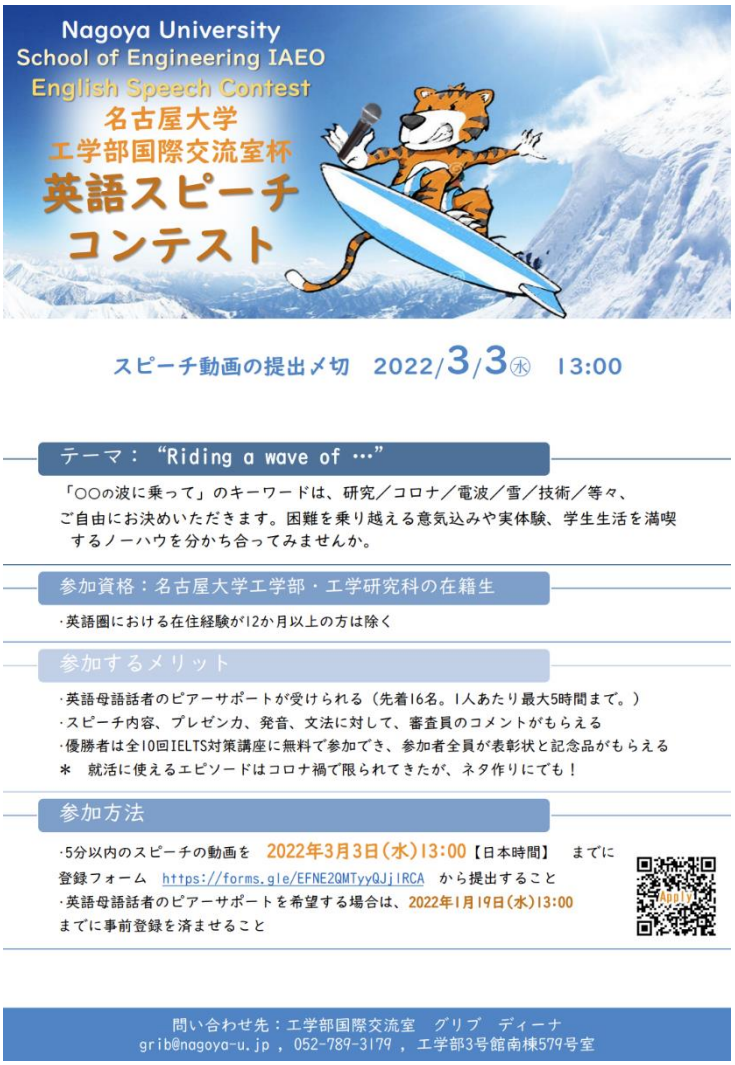
留学生専門教育担当講師
グリブ　ディーナ

新型コロナウィルス世界的流行の影響により、海外留学の機会が激減した状況を鑑みて、工学部・工学研究科在籍生の英語学習へのモティベーション向上を目指して、工学部国際交流室杯英語スピーチコンテストを起案し、国際交流室の企画として運営した。

実施につき、古谷准教授のご協力のもとで研究科長裁量経費に応募し、各参加者を 1 対 1 で支援する英語母語話者チューターの配置および景品に充当した。

参加募集を公式ホームページや SNS で案内し、工学部広報室や各専攻の事務室のご協力を得て、募集をかけた。

初めての企画につき参加希望者が 5 名と少人数にての実施になったが、参加者一人ひとりに 10 時間を限度に英語話者のチューターを付けることができて、きめ細かな支援が実現できた。



審査は、古谷准教授、曾講師、レレイト講師、グリブと、国際交流室のメンバーで実施し、優勝 1 名と準優勝 1 名を決めた。審査員より、参加者の高い英語力が賞賛されるとともに、各参加者に対して、英語力向上や動画撮影のコツに関する助言が与えられ、教育効果が図られた。

授賞式は、2022 年 4 月 11 日に行われ、国際交流学生支援委員長・戸田教授より、表彰状と名大グッズの記念品が贈呈された。

参加者の感想は、「動画提出より、対面イベントもしくは同期型オンラインイベントの方が参加する甲斐がある」との指摘はあったが、チューター支援及び審査員からの指導が勉強になったとの感謝の声も寄せられ、国際交流室による英語力向上系のイベントへの継続参加につながった例も見受けられる。

「日米加協働教育プログラム」　その９

マイクロ・ナノ機械理工学専攻
教授　　梅原徳次
教授　　巨　陽
准教授　野老山貴行

機械システム工学専攻
教授　　松本敏郎
教授　　伊藤靖仁

1. はじめに

「修士課程国際共同大学院の創成を目指す先駆的日米協働教育プログラム」は、2011年11月に大学の世界展開力事業として採択され、2016年3月末までの5年間に、ミシガン大学・UCLA と名古屋大学の工学研究科の間で学生及び教員の派遣・受入を行って参りました。文科省からの補助事業としての活動は2016年3月末で終了となりましたが、工学研究科および全学の支援をいただき、それ以降も自立プログラムとして実施しています。また2018年よりカナダ・トロント大学、2021年よりノースカロライナ州立大学（NCSU）も対象校となりました。

2020年度の国際交流室報に、「修士課程国際共同大学院の創成を目指す先駆的日米協働教育プログラム（その8）」の内容について、ご報告いたしました。その後、コロナ禍における留学機会の損失を受け、学生の受け入れも送り出しも滞り、「修士課程国際共同大学院の創成を目指す先駆的国際協働教育プログラム」の実施が困難な状況が続いておりました。2021年度になり、名古屋大学からようやく1名の学生を派遣することができました。コロナ禍の難しい時世の中、勇敢に海外への道を目指す若者がいたことはうれしい限りです。実施したプログラムの概略をここに報告させて頂きます。なお、他の内容を含めて、今までに実行したプログラムの実績の詳細は、本プログラムの以下のHPをご覧ください。

https://www.juacep.engg.nagoya-u.ac.jp/index.html

2. サマープログラムにおけるアメリカ・カナダからの学生の受入

COVID-19 によるパンデミックの影響で、多くの大学が学生の往来を閉鎖しており残念ながら実施することができませんでした。

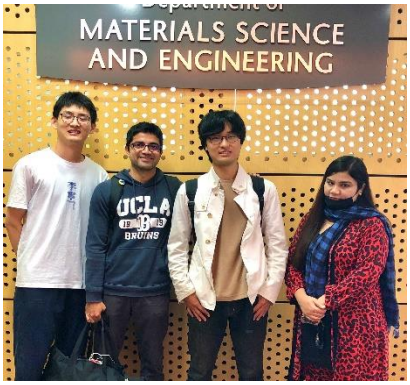
3. 名古屋大学から UCLA への学生の派遣

（2021 年 10 月開始　9 ヶ月<長期>　1名）

名古屋大学からの派遣としては、10 月に UCLA に 1 名が出発し、9 ヶ月間研究チームに所属して充実した研究活動を行いました。

派遣学生は 2022 年 6 月に帰国、その後開催されたワークショップで、派遣先大学の指導教員の下で行った研究の成果について英語でプレゼンテーションを行い、名大での指導教員の評価を受けました。

派遣された名大大学院生の活動の様子と成果発表



4. おわりに

本プログラムは、2011 年の 12 月から開始しましたが、既に名大でのサマープログラムはミシガン大学の授業としても認定され、単位取得が可能となっております。同様に、派遣プログラムでの研究インターンシップも本学のセミナーとして認定され、滞在日数に応じた単位数で名大での単位が認められるようになりました。このように本プログラムでは、修士課程における留学を可能にし、当初の目的を達成しつつあります。

今までのプログラムの実施により、名大を始めミシガン大学及び UCLA で本プログラムが広く周知されて人気の高いプログラムになっています。従来の座学を中心とした短期留学とは異なり、各研究室に学生が分散し独立して研究を行う本プログラムは、名大生にとってチャレンジングですが、参加学生は代え難い経験を得て帰国します。2020 年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響でプログラム全体を中止せざるを得ませんでしたが、2021 年度には1名の学生が、2022 年度には 2 名の学生が困難に負けずに留学することができました。彼らがコロナ禍で得た経験値はこれまで留学できることが当たり前だった時代よりも苦労した分、良い糧となって彼らの成長を促進したものと感じています。本原稿執筆時点（2022 年 9 月）でも先行きはまだ不透明ですが、世界のウィズコロナは日本よりも早く進んでいます。工学研究科の先生方におかれましては、引き続き、学生の派遣・受入においてご協力頂けますようお願い申し上げます。

留学体験記：Findings through JUACEP in UCLA

Yusuke Terai
Department of Micro-Nano Mechanical Science and Engineering

I have lots of precious experience through JUACEP. I would like to write about what I found and feel in the laboratory and outside of the laboratory. Regarding the laboratory, I have two topics to write. First thing is about the career. Our research group have 5 PhD students and they are 26-30 years old students. Some of them already got married and have children. They are so motivated to research and publish the papers so that they graduate earlier and finally get a job in the U.S. They sometimes wondered why most of Japanese graduate students in engineering don't try doctor course and look for jobs in Japan without thinking about being global works. I realized the big difference of career from Japan and the U.S. The second thing is how hard I research. Our lab do Raman measurements for biological samples while I belong to tribology (whose domain is functional surface, friction, surface coating or something like that) lab in Nagoya university. Therefore, I firstly struggled to plan my own research and catch up the discussion held every week. Through hard working and communication with group members, I managed to finish my research with group members help. I believe that this process made me grow up and confident myself. Researching was not easy at all, but I liked that time and it had motivated me to be a global worker in the future. Regarding the life in LA, I would like to introduce people in LA and the exciting places. People are so friendly to me. We can enjoy talking with them and notice the difference of cultures in the conversations. Besides, people in LA are also so kind. They are not limited only roommates, but also everyone such as clerk, even someone I met first time. They sometimes voluntarily helped me when I looked in trouble like losing way or bike malfunction. I really like their communication culture. On the other hand, LA has also a bad aspect. LA is known as less safe city. I had my bike stolen and faced some scary situation in public transportation. My friend who is native in LA often tell me that we shouldn't use transportation. Talking about having an exciting time, I made many good friends there. The applicant to JUACEP this year was only me. That's why, it was opportunity to make friends there and improve my English as a result. Additionally, LA has many entertaining places and great national parks. I especially highly recommend going to the baseball stadium, beautiful parks with friends! I really appreciate everyone supported me to research in UCLA. Thanks to this program, I have a whole bunch of wonderful memories. I think I got flexibility, toughness, and additional perspective. Therefore, I'm sure that my experiences in LA will help me to study in Nagoya university and work in the company in the future.

海外渡航助成制度による研究活動報告

（2021 年度はオンライン会議参加費について助成を行った）

■ 所属 航空宇宙工学専攻 博士後期課程（D2）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地： Italy

国際会議名： ICFC 8 - the Eighth International Conference on Fatigue of Composites

参加期間： 2021 年 6 月 23 日～2021 年 6 月 25 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

「ICFC 8 - the Eighth International Conference on Fatigue of Composites」においてオンラインで口頭発表を行った。当該会議は、近年の産業分野において利用が拡大している複合材料（特に繊維強化複合材料）の疲労に焦点を当てた研究対象の狭く深い会議であり、自らの研究と深くかかわるトピックの講演が数多く行われた。質疑応答においても専門性の高い議論が行われ、参加は非常に有意義であった。また、複数のオンライン会議室を同時並行で運営するのではなく、発表者全員が同一のオンライン会議室で講演を行ったことも当該会議の良い点であった。自らも取り組んでいる複合材料の疲労について、世界中で行われている研究について多くの知見を得られ、自らの大きな糧となった。

■ 所属 マイクロ・ナノ機械理工学専攻 博士前期課程（M2）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地： Malaysia (Virtual Platform)

国際会議名： The 3rd Malaysian International Tribology Conference

参加期間： 2021 年 7 月 5 日～2021 年 7 月 7 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

トライボロジー関連の専門家が多数参加する学会に参加した。現在進行中の研究内容に関して有益な意見を得るため MITC2020 に参加し「Clarification of the Effect of Tribofilm Derived From MODTC Additives in PAO4 Lubricant on Low Friction By in-Situ Reflectance Observation」の発表を行った。

■ 所属 電子工学専攻 博士後期課程（D1）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地： Online

国際会議名： 2021 Asia-Pacific Workshop on Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

参加期間： 2021 年 8 月 26 日～2021 年 8 月 27 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

AWAD2021 にて Magnetic-Field Dependent Electron Transport of Fe3Si Nanodots を題にして、学術発表を行った。AWAD2021 は日本と韓国を中心にして、電子工学の最新の発見とアカデミックな発想が交流できる学術会議の一つである。同じ分野に研究を進んでいる人の成果を見て、自分の研究にもいい発想に至ると考えられた。

このあとにも、また今回の AWAD みたいな国際会議に参加できるのは幸いで、自分の成長にもつながる。

■ 所属 航空宇宙工学専攻 博士後期課程（D2）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地: USA

国際会議名: ASC 36TH Annual Technical VIRTUAL Conference

参加期間: 2021 年 9 月 19 日～2021 年 9 月 23 日

(2) 参加中の活動概要、感想、希望など

「ASC 36TH Annual Technical VIRTUAL Conference」においてオンラインで口頭発表を行った。当該会議は、アメリカの複合材料学会である American Society for Composites (ASC) の主催する会議であり、産業分野において利用が拡大している複合材料に関して幅広いトピックの講演が数多く行われた。基調講演においてはボーイング社の Tia Benson Tolle 博士をはじめとした複合材料の分野をリードする研究者の講演が行われ、非常に有意義であった。また、当該会議では講演者一人当たりの講演時間が 25 分(質疑応答を含む)と長く、詳細な講演及び議論の実施及び聴講を行えたことも良い点であった。2021 年現在のコロナ禍では、他研究機関の研究者と意見を交換する機会が特に乏しかったため、オンライン開催であっても参加には非常に大きな意義があったと感じる。

■ 所属 総合エネルギー工学専攻 博士後期課程（D1）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地: 日本

国際会議名: The 5th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics（AAPPSDPP2021)

参加期間: 2021 年 9 月 26 日～2021 年 10 月 1 日

(2) 参加中の活動概要、感想、希望など

この学会では、口頭発表と情報収集を行った。口頭発表の内容としては、単一視線の分光信号を用いたプラズマ電子密度・温度の空間分布推定についての発表を行った。英語による発表や議論の経験が得られたことに加え、多くの人に自身の研究成果を知ってもらう機会となった。また、本学会はオンライン開催であったこともあり、多くの国からの様々な発表を聞くことができた。自身の研究分野に近いプラズマ基礎や核融合プラズマについては、計測手法や機械学習を取り入れた計算方法などについての研究について情報収集を行うことができた。また、宇宙や応用プラズマなどについても最新の計算・解析手法の発表を聞き、自身の研究に参考になる知識を得ることができた。本会議で得られた知識や経験をもとに、今後の研究活動を進める予定である。

■所属 エネルギー理工学専攻 博士後期課程（D1）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地: オンライン

国際会議名: 2021 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference

参加期間: 2021 年 10 月 16 日～2021 年 10 月 23 日

(2) 参加中の活動概要、感想、希望など

2021 VIRTUAL IEEE NUCLEAR SCIENCE SYMPOSIUM AND MEDICAL IMAGING CONFERENCE に参加し、研究成果の発表と他グループの成果についての情報交換を行った。他グループの発表を聴講することで、自らの研究の位置づけとこれから検討すべき内容を改めて検討することができ、研究活動に非常に良い刺激が得られた。また、並行して開催された放射線検出器に関する short course に参加することで最新の研究結果につながる放射線検出の知識を学んだ。

今回の経験をもとに再度国際学会での発表を目指し、研究を進めていきたい。

■所属　電子工学専攻　博士後期課程（D1）

（1）　参加学会名及び参加期間

学会開催地:　Online and On-Demand

国際会議名:　34th International Microprocesses and Nanotechnology Conference

参加期間:　2021 年 10 月 26 日～2021 年 10 月 29 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

修士・博士課程で得られた研究成果を 10/26-29 にオンライン開催された 34th International Microprocess and Nanotechnology Conference において「Characterization of Electronic Charged States of High Density Self-aligned Si-based Quantum Dots Evaluated with AFM/Kelvin Probe Technique」の題目で口頭発表を行った。発表形式は、事前録画・提出したビデオファイル（約 15 分）を放映後、5 分間のオンライン質疑応答であった。質疑では、3 件の質問を頂くことができ、そつなく英語で回答出来たと感じているが、英文法に関しては、更なる努力が必要であることを再認識できた。現在は、11 月末締め切りの学術論文(特集号)投稿に向けて論文執筆を進めている。また、聴講者として多数の発表を拝聴し、専門分野問わず様々な知見を学び得ることができ、今後の学位論文研究を推進していく上で大変有益であると感じた。今後も、研究活動を加速させ、積極的に国際会議での議論に挑戦することで、プレゼン能力・英語によるコミュニケーション能力向上に努めたい。

■　所属　マイクロ・ナノ機械理工学専攻　博士後期課程（D2）

（1）　参加学会名及び参加期間

学会開催地:　日本

国際会議名:　34th International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2021)

参加期間:　2021 年 10 月 26 日～2021 年 10 月 29 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

34th International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2021)に参加し、表面活性化接合用高速原子ビーム源に関する研究の発表と、荷電粒子ビーム技術に関する情報収集を行いました。本学会にて報告された研究の中で最も印象に残った研究は、非破壊の構造体観察の精度向上を目指し、電子線観察結果へ深層学習を適用した研究であり、私が取り組んでいる研究への応用の可能性を感じました。「2021 年度工学研究科博士課程学生オンライン会議参加費助成」のご支援により、自身の研究に関する有意義な情報収集をできたことに厚く御礼申し上げます。

■　所属　電子工学専攻　博士前期課程（M2）

（1）　参加学会名及び参加期間

学会開催地:　日本

国際会議名:　International Conference on Materials and Systems for Sustainability 2021(ICMaSS)

参加期間:　2021 年 11 月 4 日～2021 年 11 月 6 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

申請者は、11 月に ICMaSS 2021 へ参加しました。分野は窒化物半導体で、発表のテーマは Reduction of

Specific Contact Resistance on p-type GaN by Thermal Annealed Mg Layer です。また、Excellence Award 受賞者として選ばれましたので、大変光栄でございます。
発表したときに、他の参加者と先生から色んなコメントを受けましたので、自分の課題と窒化物半導体をもっと理解しました。
また、他の発表者の発表を聞きましたので、視野が広がりました。その中では、Chris G. Van de Walle 先生と Tomás Palacios 先生の発表が一番面白いと思います。とても多い新知識を勉強しました。これからも頑張ります。

■所属　電子工学専攻　博士後期課程（D2）
（1）　参加学会名及び参加期間
学会開催地:　日本
国際会議名:　International Conference on Materials and Systems for Sustainability 2021
参加期間:　2021 年 11 月 4 日～2021 年 11 月 6 日
（2）参加中の活動概要、感想、希望など
下記内容について、発表報告を実施。
セッション：International Symposium on Nitride Semiconductors (Materials、 Devices and Systems
日時：11月 6 日（土） 16:15 – 16:30
タイトル：Reduction in operating voltage of AlGaN homojunction tunnel junction deep-UV light-emitting diodes by controlling impurity concentrations

■　所属　機械システム工学専攻　博士後期課程（D2）
（1）　参加学会名及び参加期間
学会開催地:　日本
国際会議名:　International Conference on Materials and Systems for Sustainability 2021(ICMaSS)
参加期間:　2021 年 11 月 4 日～2021 年 11 月 6 日
（2）参加中の活動概要、感想、希望など
私は「Degradation behavior of solid oxide fuel cells with synthetic biomass gasification gas」を題目として口頭発表をさせて頂きました。これまでの研究成果を他の研究者に伝えたり、また質問に対し答えたりしました。英語で学会発表をするのは初めてですので、発表を通じて、自分は大きく成長できたと感じています。大変有意義な体験でした。
また、人前で発表をするということは、単に研究を行っただけで終わりということではなく、それに対する多くの角度からの検討や幅広い知識が求められます。したがって準備段階においても、多くの知識や刺激が得られます。
本研究はバイオマスガス化-SOFC の組み合わせシステムの構築には重要な意味を持っていますので、注目を浴びています。今回の発表をきっかけに今後はより研究に頑張りたいと思います。

■　所属　機械システム工学専攻　博士前期課程（M2）
（1）　参加学会名及び参加期間
学会開催地:　日本
国際会議名:　International Conference on Materials and Systems for Sustainability

2021(ICMaSS)

参加期間:　2021 年 11 月 4 日～2021 年 11 月 6 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

ICMass の国際会議に「Effect of Temperature and Gasifying Agents on Gasification Behavior of Biomass Char」と題しましてポスターで発表しました。ポスター発表した間に、問題を聞かれて、コメントももらいました。これらによって、自分の研究テーマの理解が深まりました。しかも、もらったコメントに基づいて、今後の研究予定を決めました。

■ 所属 航空宇宙工学専攻 博士後期課程(D1)

(1) 参加学会名及び参加期間

学会開催地:　韓国

国際会議名:　APISAT 2021 (Asia-pacific International Symposium on Aerospace Technology 2021)

参加期間:　2021 年 11 月 15 日～2021 年 11 月 17 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

【活動概要】

"Configuration of Small Airplane by Adjusting Dihedral Angle and Vertical Tail Volume for High Tolerance to Crosswind"という題目での口頭発表(発表 15 分、質疑応答 5 分)を行った。オンラインによる参加であったため、口頭とチャット機能の両方を使用し、ディスカッションを行った。

【感想】

国内学会では出会うことがない海外研究員の話を聞くことができ、専門分野の潮流を把握する良い機会になった上、自身の研究に対するモティベーションの向上にも繋がった。

■所属 機械理工学専攻 博士後期課程(D3)

(1) 参加学会名及び参加期間

学会開催地:　日本

国際会議名:　The 11th Asian-Pacific Conference on Biomechanics (APBiomech 2021)

参加期間:　2021 年 12 月 2 日～2021 年 12 月 4 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

今回の国際学術会議の参加をきっかけにして、自分の学術視野が広げられた。バイオメカニクス領域における各国の先端的な研究を学んだ。特に自分の研究領域に関係する細胞力学領域において、各国の学者や研究者が新しい実験方法で細胞に力学刺激を加える方法について学んだ。今まで知らなかった細胞の変形など面白い話が沢山出てきた。

発表者の皆さんは、英語が母語ではない人がほとんどであったが、発表は素晴らしかった。自分もこれからの努力を通して、彼らのように上手に発表できるようになりたい。

■ 所属 エネルギー理工学専攻 博士前期課程(M2)

(1) 参加学会名及び参加期間

学会開催地:　日本

国際会議名:　Material Research Meeting 2021 (MRM2021)

参加期間:　2021 年 12 月 15 日～2021 年 12 月 17 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

Materials Research Meeting 2021 学会に参加し、B-1 Hypermaterials の分野で、皆さんの発表内容を聞いた。そして、12 月 16 日午後には、「Growth of Mental Oxide Ultrathin Films on Pt(111) Followed by Ti Incorporation to Prepare Oxide Crystalline Approximants and Quasicrystals」というタイトルで、発表者として、口頭発表を行った。

今回は私が初めて現地に行って学会に参加した。会場で国際会議に参加することは、オンラインでの感覚とはまったく異なる。同時に、国際学会にはドイツ、フランスなどの他の国々から多くの研究者が参加しており、コロナのために会場に来ることはできないが、彼らとコミュニケーションをとることができる。休憩時間がたくさんあって、さまざまな研究の先生たちと交流を行うこともできる。新しい知識を得て、より多くを学んだ。

来年度もさまざまな学会に参加するつもりで、色々な人達との交流にも積極的にやっていきたい。

■ 所属 生命分子工学専攻 博士後期課程(D2)

(1)参加学会名及び参加期間

学会開催地: Honolulu、 Hawaii、USA 及びオンラインのハイブリッド方式

国際会議名: The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem 2021)

参加期間: 2021 年 12 月 16 日～2021 年 12 月 20 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

現在投稿中の論文に関連する内容についてポスター発表を行いました。オンラインということもあり、参加者は非常に少なかったです。自分の研究についてもっと多くの方々に知ってもらうチャンスであると考えて参加しましたが、それが叶わず残念でした。しかし、他の人の発表や公演は積極的に聴きに行ったので、非常に勉強になりました。

■ 所属 物質科学専攻 博士後期課程(D1)

(1)参加学会名及び参加期間

学会開催地: Honolulu、 Hawaii、USA 及びオンラインのハイブリッド方式

国際会議名: The 2021 International Chemical Congress of Pacific Basin Soceties (Pacifichem 2021)

参加期間: 2021 年 12 月 16 日～2021 年 12 月 20 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

2021年12月19日13:00-13:30(日本時間)にて、Pacifichem2021 という化学分野の大規模な国際学会で30分間の口頭発表を実施しました。発表タイトルは「Single collision statistics of tracer particle in dilute hard sphere gas」です。本発表で高分子の運動のモデリングを専門とする Sachin Shanbhag 先生と有益な議論を交わすことができました。Sachin 先生から頂いた質問は、今までの私にはなかった観点でした。現在、本学会で頂いた質問やアドバイスを踏まえて論文を執筆しております。

海外派遣等助成により、研究が促進し、貴重な経験をしました。心より感謝致します。

■ 所属 電気工学専攻 博士前期課程(M2)

(1) 参加学会名及び参加期間

学会開催地: アメリカ合衆国

国際会議名: SPIE Photonics West

参加期間: 2022 年 2 月 21 日～2022 年 2 月 27 日

(2)参加中の活動概要、感想、希望など

従来の開催都市米国サンフランシスコにて、新型コロナウィルス感染状況が悪化した。それに伴い、現地開催の Photonics West 2022 とならび、オンデマンドによる Photonics West 2022 On Demand が開催されたため参加した。

本学会では、テラヘルツパラメトリック発生器のカスケードプロセスに関する研究について報告した。中国をはじめ、カスケードプロセスに関する研究は世界中で進められており、我々の研究について報告するいい機会となった。しかしながら、オンデマンド開催であったため、講演に関するフィードバックが少なく、活発な議論ができなかった。オンデマンド開催であっても、活発な議論ができるような発表の工夫が必要と感じた。

■ 所属 機械理工学専攻 博士後期課程（D3）

（1） 参加学会名及び参加期間

学会開催地: 日本

国際会議名: 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies

参加期間: 2022 年 3 月 7 日～2022 年 3 月 9 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

The 2022 IEEE 4th Global Conference on Life Sciences and Technologies (LifeTech 2022) aims to exchange information and results of state-of-the-art work on systems, devices, technologies, processes, and applications for the life science industry and academia.

I acquired the information of the latest studies about the assessment methods for rehabilitation and other health care fields. Ergonomic simulation and artificial intelligence technology can effectively help caregivers to improve their daily work.

In the future, assistive technologies are expected to be more applicable for actual sites and reduce the injury risk of caregivers.

■所属 応用物理専攻 博士後期課程（D2）

（1）参加学会名及び参加期間

学会開催地：Chicago、 Illinois、米国

国際会議名：APS March Meeting 2022 (An in-person event with virtual components)

参加期間：2022 年 3 月 14 日～2022 年 3 月 18 日

（2）参加中の活動概要、感想、希望など

APS March Meeting 2022（米国物理学会）において登壇者として参加し、電気化学ドープされた単層グラフェンのレーザー分光（超高速発光）に関する研究成果を発表した。また、自身の発表だけではなく、ナノカーボン物質の非線形光学効果や超高速分光、テラヘルツ光応答といった、関係の深い領域の講演を聴講し、情報収集に努めた。

全体の参加を通しての感想として、本国際会議はシカゴ会場とオンラインのハイブリット開催であったが、contributed session の質疑応答は現地参加者に限られていたため、議論できる場が限られてしまった点で残念に感じた。しかしながら、オンラインサイト上には発表動画がアップロードされる形式であったため、参加時間に左右されることなく発表の聴講に専念できた。

今後の希望として、コロナの状況に左右される部分は大きいが、来年度は本 APS March Meeting の現地参加が望まれる。

令和３年度交換留学による派遣留学生

学科・専攻名	学年	派遣大学	派遣期間
土木工学専攻	前期課程 2年	ブリストル大学	2021.9.17- 2022.6.24
マイクロ・ナノ機械理工学専攻	前期課程 1年	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2021.10.21- 2022.6.6

令和３年度短期留学推進制度（受入）による外国人留学生

身分	学科・専攻名	受入期間	出身校
特別聴講学生	機械・航空宇宙工学科	2021/4-2021/8	University of Indonesia
特別聴講学生	環境土木・建築学科（環境土木）	2021/4-2021/8	Universidad Nacional Autónoma de México
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/4-2021/8	Beijing University of Technology
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/9-2022/8	北京工業大学
特別聴講学生	国際交流室	2021/9-2022/2	北京工業大学
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/9-2022/8	瀋陽工業大学
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	国際交流室	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	国際交流室	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	国際交流室	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	電気電子情報工学科	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
特別聴講学生	機械・航空宇宙工学科	2021/10-2022/2	タシケント工科大学
大学院特別聴講学生	土木工学専攻	2021/4-2021/4	Technische Universität Darmstadt
大学院特別聴講学生	航空宇宙工学専攻	2021/4-2021/8	Université Grenoble Alpes

大学院特別聴講学生	機械システム工学専攻	2021/4-2021/4	Technische Universität München
大学院特別聴講学生	生命分子工学専攻	2021/4-2021/8	Technical University of Munich
大学院特別聴講学生	物質プロセス工学専攻	2021/9-2022/8	国立清華大学
大学院特別聴講学生	化学システム工学専攻	2021/9-2022/2	パリ大学
大学院特別聴講学生	物質科学専攻	2021/9-2022/8	コミュニテ・グルノーブル・アルプス大学
特別研究学生	電気工学専攻	2021/4-2022/3	西安交通大学
特別研究学生	応用物質化学専攻	2021/4-2022/3	同済大学

授業料を不徴収とする大学（部局）間交流協定締結大学一覧

国・地域	大学名	本学学部名
アイスランド	アイスランド大学	全学間
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	全学間
アメリカ	オレゴン大学	全学間
アメリカ	コロラド鉱山大学	工学部
アメリカ	シンシナティ大学	全学間
アメリカ	セント・オラフ大学	全学間
アメリカ	ニューヨーク大学	全学間
アメリカ	ノースカロライナ州立大学	全学間
アメリカ	ノースカロライナ大学チャペルヒル校	全学間
アメリカ	フロリダ大学	全学間
アメリカ	ミシガン大学工学部	工学部
アメリカ	ミネソタ大学	全学間
アメリカ	ワシントン大学工学部	工学部
アメリカ	南イリノイ大学カーボンデール校	全学間
イギリス	ウォリック大学	全学間
イギリス	ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ	全学間
イギリス	シェフィールド大学	全学間
イギリス	ダラム大学	全学間
イギリス	ブリストル大学	全学間
イギリス	リーズ大学	全学間
イギリス	ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)	全学間
イタリア	カターニア大学	全学間
イタリア	パドヴァ大学情報工学部門	工学部
イタリア	パドヴァ大学土木環境建築工学科	工学部
イタリア	ボローニャ大学	全学間
インド	インド科学大学院大学	全学間
インド	タタ基礎科学研究所	全学間
インドネシア	インドネシア大学	全学間
ウズベキスタン	サマルカンド国立大学	全学間
ウズベキスタン	タシケント工科大学	全学間
エジプト	タンタ大学工学部	工学部
オーストラリア	アデレード大学	全学間

オーストラリア	オーストラリア国立大学	全学間
オーストラリア	シドニー大学	全学間
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	全学間
オーストラリア	モナシュ大学	全学間
オーストラリア	西オーストラリア大学	全学間
オーストリア	クラーゲンフルト大学ソーシャルエコロジー研究所	工学部
オランダ	トゥエンテ大学	全学間
オランダ	ラドバウド大学	全学間
カナダ	オタワ大学	全学間
カナダ	カルガリー大学	全学間
カナダ	トロント大学(The Faculty of Arts and Science)	全学間
カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	全学間
カナダ	モントリオール大学	全学間
カナダ	ヨーク大学	全学間
韓国	ソウル国立大学校	全学間
韓国	浦項工科大学校	全学間
韓国	延世大学校	全学間
韓国	釜山大学校工学部	工学部
韓国	漢陽大学校	全学間
韓国	韓国科学技術院（KAIST）	全学間
韓国	慶尚大学校	全学間
韓国	慶北大学校工学部	工学部
韓国	慶熙大学校	全学間
韓国	高麗大学校	全学間
韓国	成均館大学校	全学間
グアテマラ	バレ・グアテマラ大学工学部	工学部
ケニア	ナイロビ大学	全学間
シンガポール	シンガポールマネジメント大学	全学間
シンガポール	シンガポール国立大学	全学間
シンガポール	南洋理工大学	全学間
スイス	ジュネーブ大学	全学間
スウェーデン	ウプサラ大学	全学間
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	全学間
スペイン	バルセロナ大学	全学間
タイ	カセサート大学	全学間
タイ	チュラロンコン大学	全学間

台湾	国立陽明交通大学電気電子コンピュータ工学院	工学部
台湾	国立清華大学	全学間
チェコ	チェコ工科大学	全学間
中国	華中科技大学	全学間
中国	上海交通大学	全学間
中国	清華大学	全学間
中国	西安交通大学	全学間
中国	大連理工大学	全学間
中国	大連理工大学建設工程学部	工学部
中国	中国科学院上海セラミックス研究所	工学部
中国	中国科学技術大学	全学間
中国	中南大学	工学部
中国	天津大学建築学院	工学部
中国	東北大学	全学間
中国	同済大学	全学間
中国	南京航空航天大学	工学部
中国	南京大学	全学間
中国	北京工業大学	工学部
中国	北京師範大学減災応急管理学院・地表過程資源生態重点研究所	工学部
中国	北京大学	全学間
中国	哈爾濱工業大学	全学間
中国	浙江大学	全学間
中国	瀋陽工業大学	工学部
デンマーク	オーフス大学	全学間
ドイツ	アーヘン工科大学	全学間
ドイツ	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｽﾞﾌｫｰﾊｲﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾏｲｸﾛｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ(IHP)	工学部
ドイツ	ケムニッツ工科大学	全学間
ドイツ	ダルムシュタット工科大学土木工学・測地学科	工学部
ドイツ	フライブルク大学	全学間
ドイツ	ブラウンシュバイク工科大学	全学間
ドイツ	マインツ大学物理・数学・コンピュータ学部	工学部
ドイツ	ミュンスター大学化学薬学部、有機化学研究所、生物化学研究所、医薬化学研究所	工学部
ドイツ	ユーリッヒ総合研究機構	工学部
ドイツ	ルール大学ボーフム校物理天文学部及び電子情報学部	工学部
トルコ	ビルケント大学	全学間

ノルウェー	オスロ大学	全学間
フィリピン	デラサール大学工学部	工学部
フィンランド	ヘルシンキ大学	全学間
ブラジル	サンパウロ大学	全学間
フランス	クレルモンオーベルニュ大学	工学部
フランス	コミュニテ・グルノーブル・アルプス大学	全学間
フランス	ストラスブール大学	全学間
フランス	パリ第7大学(パリ・ディドロ大学)	全学間
フランス	パリ東大学	全学間
フランス	ポンゼショセ工科大学	全学間
フランス	リヨン高等師範学校	全学間
フランス	リヨン第3大学	全学間
ベトナム	ハノイ工科大学	全学間
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学	全学間
ポーランド	ワルシャワ工科大学	工学部
ポーランド	ワルシャワ大学	全学間
香港	香港城市大学	全学間
香港	香港大学	全学間
香港	香港中文大学	全学間
香港	香港理工大学	全学間
南アフリカ	ステレンボッシュ大学	全学間
メキシコ	メキシコ国立自治大学	全学間
ロシア	モスクワ工業物理大学	工学部

令和３年度学位取得外国人留学生論文一覧（博士後期課程）

国・地域	専攻名	主論文題目
ベトナム	機械理工学 (電子機械工学)	Driver state estimation by using graphical-based model toward advanced driver assistance systems (先進運転支援システムのためのグラフィカルモデルによるドライバ状態推定)
ペルー	マイクロ・ナノ機械理工学	Developing a cooperative robotic-assisted surgical system for endoscopic endonasal surgery (経鼻内視鏡手術のための協調ロボットによる手術支援システムの開発)
インド	材料デザイン工学	Synthesis and Characterization of Anti-Perovskite Structured Li+ Conducting Solid State Electrolyte (アンチペロブスカイト型構造を有する Li+伝導性固体電解質の合成と評価)
中国	物質プロセス工学	Additive manufacturing of near-eutectic Al-Fe binary alloy by laser powder bed fusion: Processing parameters、 post-heat treatments、 microstructure、 and properties (レーザ粉末床溶融結合法による共晶組成近傍の Al–Fe 二元系合金の積層造形：プロセス条件、熱処理、組織および性質)
中国	物質プロセス工学	Enhancement in compressive properties of additive-manufactured metallic lattice structures through experimental and numerical approaches (実験及び数値解析による積層造形ラティス構造体の圧縮特性の向上)
中国	電気工学	Role of impurity deposition in the formation of silicon nanocone by using low energy helium plasma irradiation (低エネルギーヘリウムプラズマ照射によるシリコンナノコーンの形成における不純物堆積の役割)
パキスタン	土木工学	Bond Behavior Evaluation of Deformed Rebar by using 3D RBSM with Beam Element (梁要素を用いた 3D RBSM による異形鉄筋の付着挙動評価)
中国	土木工学 (環境土木工学プログラム)	Difference-in-differences Analysis on Railway Investment-induced Effects on Residential Distribution Changes (鉄道公共交通の整備による居住地分布の変化に関する差分の差分分析)

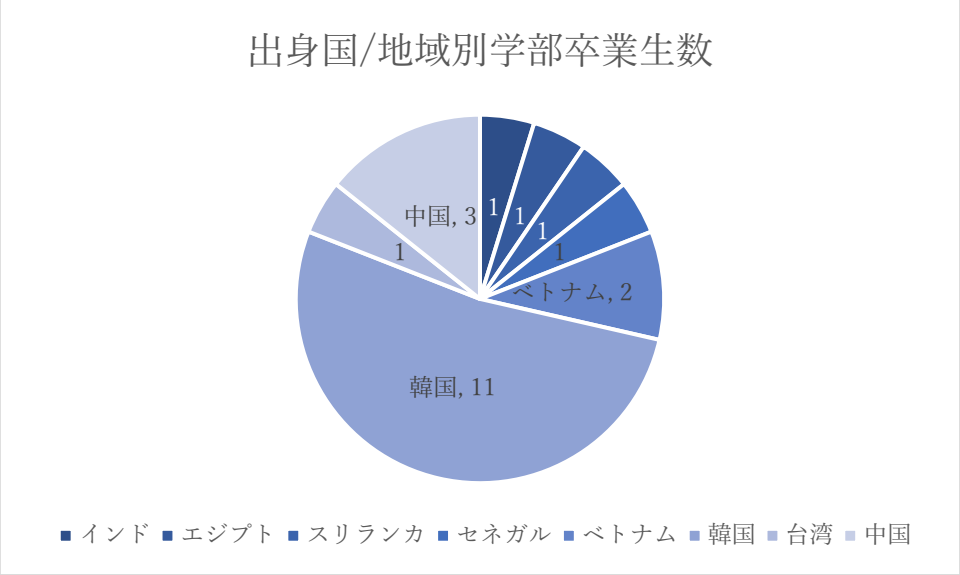
中国	物質プロセス工学	Microstructures and mechanical properties of Al-Si alloys additive-manufactured by laser powder bed fusion (レーザ粉末床溶融により積層造形された Al-Si 合金の微視組織と機械的性質)
中国	化学システム工学	Study on Fabrication of Cibacron Blue-Modified Nanofiber Fabric and Its Application for Protein Separation (シバクロンブルー修飾ナノファイバー不織布の作製およびタンパク質分離への応用に関する研究)
中国	機械理工学 (機械科学)	A Study on Quantitative Evaluation of Local Permittivity and Conductivity Using Microwave Atomic Force Microscope (マイクロ波原子間力顕微鏡を用いた局所誘電率と局所導電率の定量評価に関する研究)
ナイジェリア	機械システム工学	Variable Selection for Personalized Driving Behavior Modeling and Application to Autonomous Driving (個人の運転行動に基づくモデリングのための決定変数選択と自律走行への応用)
中国	機械理工学 (機械情報システム工学)	Analysis of Lumbar Compressive Force for Safety Assessment of Transfer Motion (移乗動作の安全性評価を目的とした腰部圧縮力に関する分析)
中国	生命分子工学	Studies on Fluorescent Probe Composed of Artificial Nucleic Acids for Detection of Natural Nucleic Acids (天然核酸検出に向けた人工核酸を有する蛍光プローブに関する研究)
タイ	生命分子工学	Oxide Nanowire Microfluidics for the Analysis of Extracellular Vesicles (酸化物ナノワイヤマイクロ流体による細胞外小胞の分析)
中国	物質科学	Linear and Nonlinear Rheological Properties of Poly(Propylene Carbonate) (ポリ(プロピレンカーボネート)の線型および非線型粘弾性特性)
韓国	物質プロセス工学	High-performance Sm-Co permanent magnets with novel microstructures developed using low-oxygen powder metallurgy process (低酸素粉末冶金プロセスを用いた新規微細構造を有する高性能 Sm-Co 永久磁石の開発)
中国	物質プロセス工学	Multiscale numerical investigation on step dynamics during solution growth of 4H-SiC (4H-SiC の溶液成長のステップダイナミクスに関するマルチスケール数値解析研究)

中国	電子工学	Study of thermally-assisted spin-transfer torque switching of hybrid memory layer consisting of low Tc CoPd/Pd and high Tc Co/Pd MLs (低キュリー温度 CoPd/Pd 多層膜と高キュリー温度 Co/Pd 多層膜を用いたハイブリッドメモリ層の熱アシストスピン注入磁化反転についての研究)
韓国	電子工学	Study on high-speed plasma-enhanced chemical vapor deposition of conductive carbon by microwave power (マイクロ波電力を用いたプラズマ気相成長法による導電性炭素膜の高速堆積に関する研究)
中国	機械システム工学	Experimental Study on Large-scale Structures in Turbulent Boundary Layer (乱流境界層における大規模構造に関する実験的研究)
中国	機械システム工学	Robust topology optimisation for wideband acoustic devices based on the boundary element method (境界要素法に基づく音響機器の広帯域化のためのロバストトポロジー最適化)
中国	マイクロ・ナノ機械理工学	Strain hardening relief and crack initiation delay of Ni-based superalloy Inconel 718 induced by high-density pulsed electric current (高密度パルス電流による Ni 基超合金インコネル 718 のひずみ硬化の緩和とき裂発生の遅延)
韓国	マイクロ・ナノ機械理工学	A Study on Improvement of Tensile and Fatigue Properties of Type 316 Austenitic Stainless Steel by High-Density Pulsed Electric Current (高密度パルス電流によるタイプ 316 オーステナイト系ステンレス鋼の引張および疲労特性の改善に関する研究)
中国	土木工学	Shared Autonomous Vehicle System in Residential Suburban Areas (郊外部の住宅地域における自動運転車共同利用システム)
中国	物質プロセス工学	Nanomaterials Fabrication by using Pulsed Laser Ablation with Sonochemistry in an Aqueous Environment for Composite Materials (液相レーザーアブレーションとソノケミストリーを用いた複合材料用ナノ材料の作製)
中国	機械システム工学	Development of A Built-in Sensor System Using Distributed Piezoelectric Polymer Film Sheets for Shear Strain and Stress Distribution Measurement of Soft Materials (柔軟素材のせん断ひずみおよび応力分布測定のための

		圧電ポリマーフィルム内蔵型センサシステムの開発)
エクアドル	機械理工学 (機械情報システム工学)	Gait analysis of the reaction motions against muscle restriction for the purpose of reproducing the gait of the elderly in the young (若年者による高齢者の歩行動作の擬小化を目的とした筋力抑制手法の開発および MTC 観点の歩行特性評価)
中国	土木工学	Effects of Riparian Vegetation on Transitional and Equilibrium River Morphology (河岸植生が河床形状の変遷過程と安定状態に及ぼす影響に関する研究)

令和３年度学部卒業留学生

学科名	国・地域	人数
化学・生物工学科	韓国	1
化学生命工学科	台湾	1
物理工学科	韓国	1
	中国	1
マテリアル工学科	韓国	1
電気電子・情報工学科	韓国	2
電気電子情報工学科	インド	1
	ベトナム	1
	韓国	2
	中国	1
機械・航空工学科	スリランカ	1
	韓国	2
機械・航空宇宙工学科	エジプト	1
	セネガル	1
	ベトナム	1
エネルギー理工学科	韓国	1
	中国	1
環境土木・建築学科	韓国	1

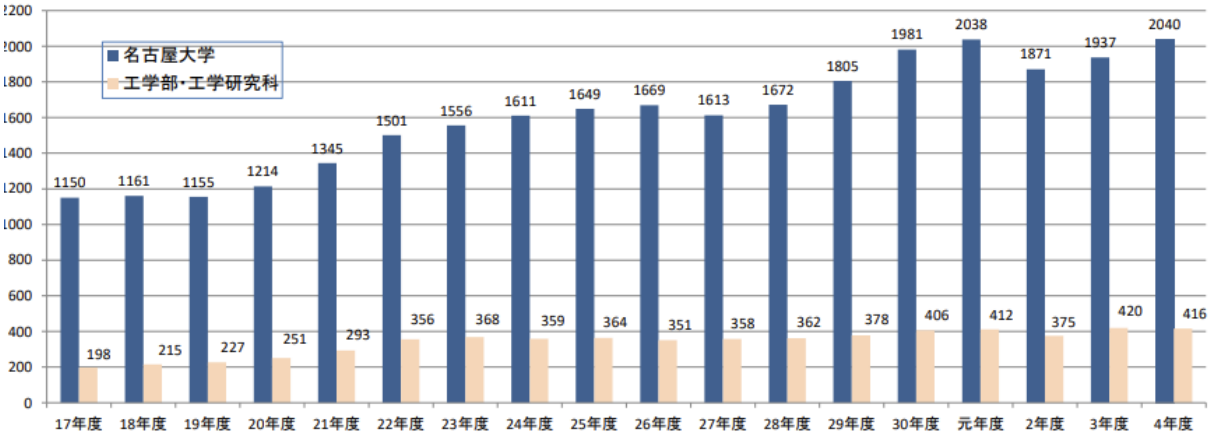


名古屋大学及び工学部・工学研究科在籍外国人留学生の変遷

平成 (西暦)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)
名古屋大学	1150 (553)	1161 (566)	1155 (563)	1214 (607)	1345 (685)	1501 (764)	1556 (783)	1611 (816)	1649 (799)	1669 (837)	1613 (786)	1672 (822)	1805 (916)	1981 (1014)	2038 (1062)	1871 (972)	1937 (953)	2040 (987)
国・地域数	70	73	72	74	78	73	76	81	87	93	93	91	106	109	103	100	91	99

工学部・ 工学研究科	198 (37)	215 (34)	227 (99)	251 (63)	293 (73)	356 (101)	368 (102)	359 (96)	364 (88)	351 (86)	358 (87)	362 (81)	378 (86)	406 (91)	412 (102)	375 (102)	420 (102)	416 (96)
国・地域数	25	26	28	27	26	26	26	28	27	36	40	43	44	38	36	30	31	36

()は女子を内数で示す



工学部・工学研究科外国人留学生数調（国・地域別）

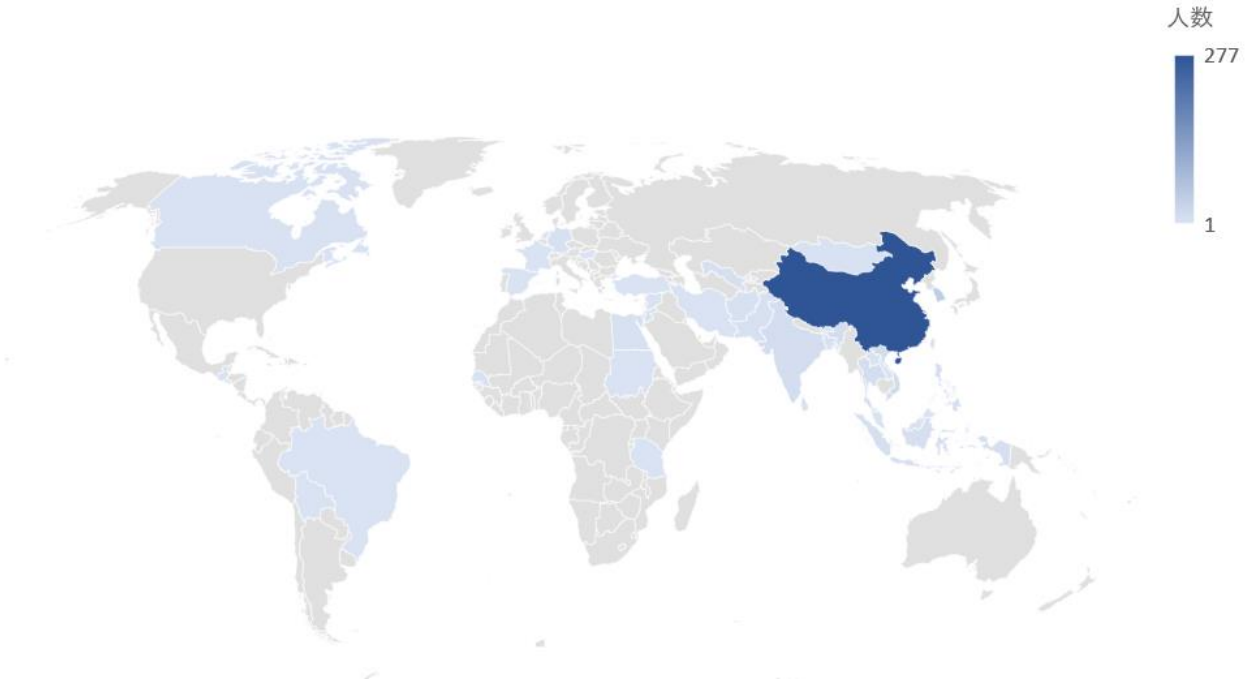
令和4年5月 1 日現在

国・地域	国費		政府		私費		合計	
アフガニスタン					4		4	(0)
アメリカ					3		3	(0)
イラン					1	(1)	1	(1)
インド	6	(1)			4	(2)	10	(3)
インドネシア	5	(1)			2	(1)	7	(2)
ウズベキスタン	1				5		6	(0)
エジプト	1	(1)			3	(2)	4	(3)
オランダ					1		1	(0)
カナダ	2	(1)					2	(1)
グアテマラ	1				2	(2)	3	(2)
シリア	1						1	(0)
スーダン					1	(1)	1	(1)
スペイン	1						1	(0)
スリランカ	1				3		4	(0)
セネガル					3		3	(0)
タイ	8	(2)			3		11	(2)
タンザニア	1						1	(0)
ドイツ					5	(2)	5	(2)
トルコ					1		1	(0)
パキスタン	4	(2)					4	(2)
ハンガリー					1		1	(0)
バングラデシュ	4						4	(0)
フィリピン	2	(1)			7	(1)	9	(2)
ブータン	1						1	(0)
ブラジル	1						1	(0)
フランス					1		1	(0)
ベトナム	9	(1)			6		15	(1)
ボリビア	1						1	(0)
マレーシア					1	(1)	1	(1)
モンゴル	1				2	(2)	3	(2)
ヨルダン					2		2	(0)
ラオス					1		1	(0)
台湾					5		5	(0)

韓国	9	(2)	7	(1)	29	(5)	45	(8)
中国	4	(1)			273	(70)	277	(71)
総計	64	(13)	7	(1)	369	(90)	440	(104)

＊()は女子を内数で示す

工学部・工学研究科外国人留学生出身地分布図



付録

工学部国際交流室の

主催・共催による催事、

国際交流室の構成員が協力した催事の例

工学部/工学研究科留学生オリエンテーション
Orientation for New International Students of School / Graduate School of Engineering

日　　時：　2021 年 4 月 7 日（水）午前 9:30 (日本時間)
Time & Date：　9:30 a.m. Wednesday, April 7, 2021 (JST)
Zoom Meeting:
https://us02web.zoom.us/j/84985488648?pwd=eDFzUDEwTmpaVU9GRC8zd3hOZG5udz09
Meeting ID: 849 8548 8648
Passcode: 6av0eJ

（ｉ）　国際交流室，教務課，総務課の構成員　Members of the International Academic Exchange Office, Student Affairs Division and General Affairs Division

（ｉｉ）　国際交流室，教務課，総務課の位置　Locations of the International Academic Exchange Office and Student Affairs Division and General Affairs Division

（ｉｉｉ）　国際交流室のホームページと Facebook
Website and Facebook of the International Academic Exchange Office

（ｉｖ）　チューター制度　Tutor system

（ｖ）　奨学金　Scholarships

（ｖｉ）　ビザの更新とパスポートの更新　Extension of visa and renewal of passport

（ｖｉｉ）　資格外活動許可　Permission to engage in a part time job

（viii）　名古屋大学ポータル Nagoya University Portal Site

（ｉｘ）　<a> 情報セキュリティ自己点検　Information Security Self-Inspection
<b> メールアドレスの登録　Registration of your e-mail address
<c> 海外旅行届　Notification of overseas travel

（ｘ）　通学について（自家用車と自転車）　Transportation (car and bicycle)

（ｘｉ）　大学生協個人賠償責任保険　Personal Liability Insurance for Students by COOP

（xii）　学内における安全確保・事故などの対応
On-campus Security and Emergency Response for Accidents

（xiii）　ファイル交換ソフトウェア使用禁止　Prohibition of File Sharing Software Use

（xiv）　その他の注意事項　Other Important Matters that Need Attention
<a> 学生の懲戒及び教育的措置について
Student Disciplinary Action and Educative Measures
<b> 飲酒に関する注意喚起　Warnings on Drinking
<c> 学外団体に関する注意喚起 Involvement in outside organizations
<d> 若者をめぐる消費者トラブルに注意
Notes on Consumer Problems Involving Youth
<e> ハラスメント、男女共同参画、人種平等
Harassment, gender equality and racial equality

（ｘｖ）　国際交流会　International Friendship Hour　(April 28, 6pm～7pm via zoom)

（xvi）　新入留学生向けの追加情報 More information for the new international students

Online

工学部・工学研究科

国際交流会

SCHOOL & GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING

INTERNATIONAL FRIENDSHIP HOUR

学生、研究員、教職員が対象。飲み物やスナックを片手に日本人学生や先輩留学生と気軽にネットワーキングしましょう。

We invite students, researchers, faculty and staff.
Let's meet Japanese and senior international students,
ask for their advice,
make new friends!

4月28日(水)
18:00-19:00
on Wednesday, April 28

18:00 – 18:10　国際交流室による挨拶
18:00 – 18:30　先輩による体験談
18:30 – 19:00　少人数グループで交流

18:00 – 18:10　Opening address by IAEO
18:10 – 18:30　Talk by senior students
18:30 – 19:00　Discussions with senior students and advisors in small groups

参加登録
Register from

https://forms.gle/gANckH33hAWTXA4F6

工学研究科国際交流室主催
Organized by the International Academic Exchange Office

2021 年度前期
交流協定締結大学への留学説明会

日　時：　2021 年 4 月 26 日(月)16:30［終了予定時刻 17:30］

会　場：　Zoom

申し込みフォーム(4 月 25 日までに登録をお願いします)

⇒　https://forms.gle/NmzUJuKxQNVxxg6R7

Zoom ミーティングに参加する

https://us02web.zoom.us/j/89518620189?pwd=NW1GZkJwdCtBd2pLc1N4RTNlc21QZz09

ミーティング ID: 895 1862 0189　　パスコード: 345323

内　容:

＊部局間(工学部・工学研究科)交換留学制度について

講師：古谷 礼子 准教授　　(工学研究科　国際交流室)

＊大学間交換留学制度について

講師：岩城 奈巳 教授　(国際教育交流センター　海外留学部門)

＊フロリダ大学留学体験

講師：深見 勇馬 氏(工学部マテリアル工学科 ４年)

＊Q & A

留学を実現させるには、長い準備期間が必要です。留学はまだ先のこととお思いになる方も是非参加して、準備を始めて下さい。

工学研究科国際交流室　　工学部 3 号館南 571 号室
メール　　advisors@int.engg.nagoya-u.ac.jp
ホームページ　http://int-office.engg.nagoya-u.ac.jp/
工学研究科教務課　　ES 総合館 3 階

～海外の交流協定締結大学へ留学するメリット～

・留学先大学で修得した単位を本学の単位として認定する制度
・本学へ学費を納めるだけで留学先大学の授業料を免除される制度等

SPEAKING WRITING 2021 SEMINAR

スピーキング ライティング 講座

工学部・工学研究科の学生向けに自由参加型の「英語力強化講座」（単位認定対象外）を開講しています。本講座は学生の英語力全般（Reading、 Listening、 Speaking、 Writing の4技能）が大きく強化されることを目標としていますが、個人では勉強しにくいスピーキングとライティングを中心に構成しています。名古屋大学大学院工学研究科国際交流室教員とIELTS試験講習の専門家が、IELTS※1の学習方法や対策が身につくよう指導します。さらに、講座後も自立して英語学習できるようにノウハウを伝授します。

今なぜ・どこで英語力が必要なのか

実践的英語力を伸ばそう

学業

大学では、英語論文の読み書き、英語での授業の聴講や討論等にはアカデミック英語のスキルが必要です。また、学部卒業時にはTOEFL ITP® 550点以上が期待されます。

企業

国内外のグローバル企業や研究機関で活躍するには、ビジネス英語運用能力が重要であり、議論や交渉、技術関連英語資料や論文の読み書き、そして英語でのプレゼンテーションを行うスキルが求められます。

留学

海外大学への交換留学や大学院留学をするには、英語の 4技能 （Reading、Listening、Speaking、Writing ）が問われる TOEFL-iBT（80以上）またはIELTS（6.0以上）※1 の高得点 が求められます。

国際交流

海外の旅先でのコミュニケーションはもちろん、学内でも日本語力が十分でない留学生（国際プログラム学生や交換留学プログラム学生等）が増えており、日常英会話力が期待される場面が多くなっています。

※1：TOEFL iBT®とIELTS について

- 英語圏の大学では、留学申請の際の英語力要件として、TOEFL iBT®またはIELTSのスコア提出が一般的。
- **TOEFL®**：米国非営利教育団体であるEducational Testing Service(ETS)により開発されたテスト(米国英語がベース)。当初は、writing、speaking 能力が含まれないpaper-based test (TOEFL PBT)として実施されたが、米国大学からの要求でwriting、speaking 能力も測るinternet-based test (TOEFL iBT®) が現在の公式版となっている。入学時に受けたTOEFL ITP®（TOEFL Institutional Test Program）は、教育機関(Institution) 内向けの非公式テストとして提供され、TOEFL-PBTとほぼ同じ内容のもの。従って、writing、speaking 能力は測られない。
- **IELTS**：British Council（英国文化振興会）等で運営されている英語版テスト。TOEFL iBT®と同様にwriting、speaking 能力の評価が含まれる。
- ETS基準ではTOEFL ITP® 550 はTOEFL iBT®80またはIELTS 6.0と同じレベルですが、Speaking/Writing力に苦労する日本人学生の多くは、TOEFL PBT 550でも、TOEFL iBT® 60～70 (IELTS 5.0 ～ 5.5)相当が現状と言われています

☑ 2021前期開講セミナー 参加者募集中

本講座に興味のある学生は次頁にある情報を確認の上、申込リンクのフォームに必要な情報の登録をお願いします。

お問合せ: 名古屋大学大学院工学研究科・国際交流室　レレイト・エマニュエル　Tel: 052-789-3101　email: leleito@nagoya-u.jp

2021 前期開講セミナー参加者募集

日程・場所　Schedule & Venue

2021年05月11日～2021年07月13

- 英語講座：火曜日　18:15 ～ 19:45 、場所: オンライン（全10回、15時間）

05月	**火**	11日(第1回)、　18日(第２回)、25日(第３回)
		※必要に応じて「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施する（時間調整必要）
06月	**火**	01日(第４回)、　08日(第５回)、　15日(第６回)、　22日(第７回)、29日(第８回)
		※必要に応じて「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施する（時間調整必要）
07月	**火**	06日(第9回)、　１３日(第10回)
		※必要に応じて「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施する（時間調整必要）

- **ガイダンス**：2021年05月11日（火）の講座中に5分程度のガイダンスを実施する予定
- **派遣留学説明会**：2021年04月26日は令和３年度前期派遣留学説明会を実施する予定
  参加登録URL：　https://forms.gle/nVbTjsJyekKHrqz19

講座申込方法
Application Method

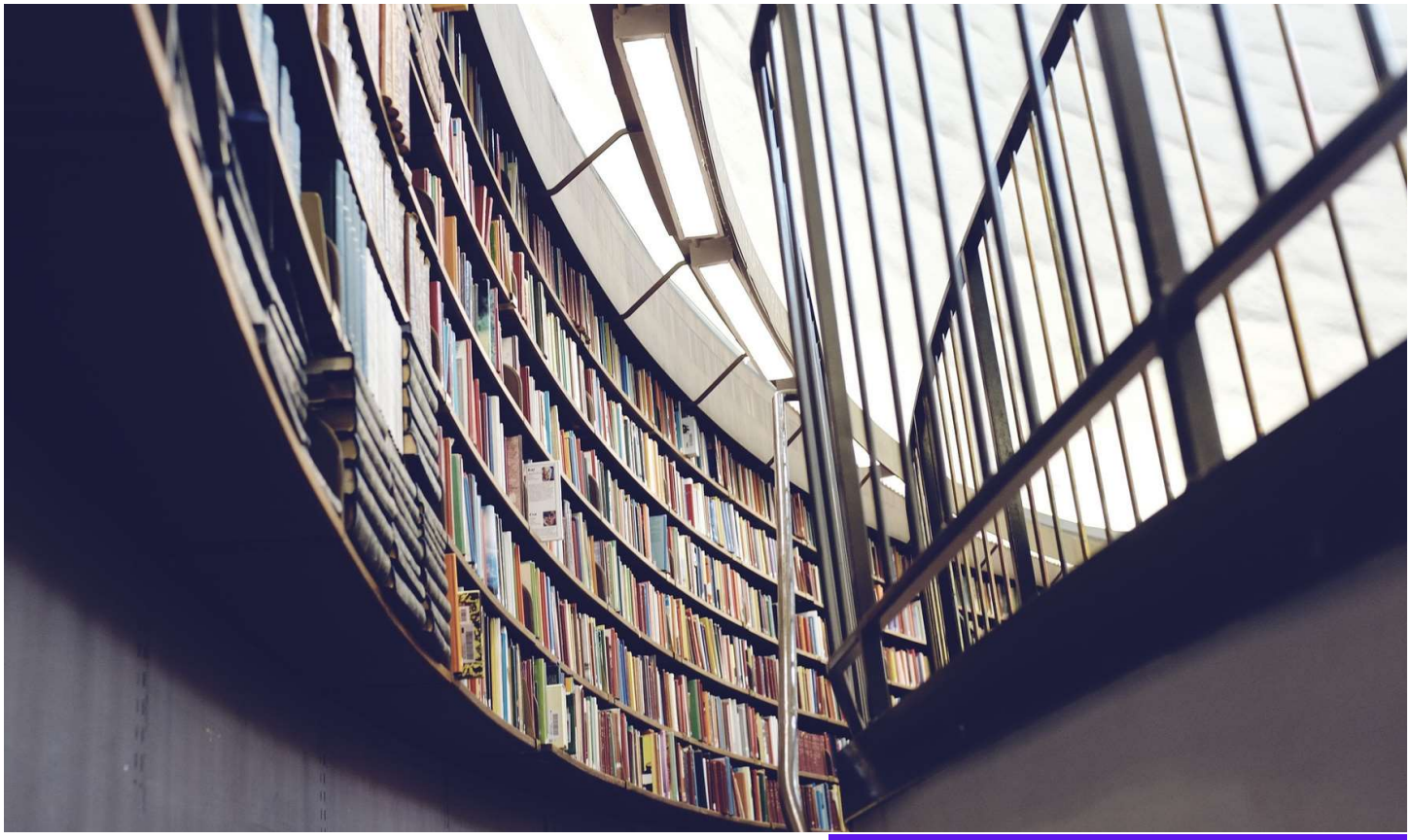
- ☑ 必要な情報：Email、名前、学籍番号、所属専攻、IELTS/TOEFL/TOEIC等のスコア
- ☑ 申込期間：**2021年04月13日（火）～ 2021年05月04日（火）**
- ☑ 申込リンク：**https://forms.gle/HEA5FouZHVSpQVgH8**
- ☑ 受講の可否の連絡：**2021年05月06日（木）**
  ※個別にEmailにてご連絡いたします。
- ☑ **定員**：30名程度
  - ☞ 本勉強会は小人数で行うため、申込者が定員を超えた場合は、登録した方から抽選にて受講者を決定する場合がありますので御了承ください。
  - ☞ 受講者は日本人学生に限りません（留学生の参加も歓迎します）。
  - ☞ 定員に限りがあるため、海外留学に意欲があり、授業以外に英語力強化のための自主勉強に取り組む強い意欲を持っている学生の参加を期待します。

申込QR コード

費用　Fees

- ***3,000円***（税込み）
  IELTS専門家15時間指導分、ライティング添削、教材、等
  ※価格参考例：外部でのIELTS対策講座の15時間コースの受講料は約40,000円。
- **支払い期限**：受講の可否の連絡後、**05月11日（火）までに後日指定する口座に入金すること**。この日までに入金が確認されない場合はキャンセルとみなします。

お問合せ: 名古屋大学大学院工学研究科・国際交流室　レレイト・エマニュエル　Tel: 052-789-3101　email: leleito@nagoya-u.jp



Teaching and research job?
Working at a company?
Starting your own business?

CAREER DESIGN SEMINAR for International Graduate Students

you can join & leave anytime!

Tips on:

- Designing a possible career path while completing your degree
- Developing the skills and abilities desired for your future career
- Resources and support available on campus

July 1 (Thu)

12:00-13:00

- **Speaker：Grib Dina**
  (Grad school of Engineering)
- **Language：English**
- **How to：Online(Zoom)**

＜Registration＞

・Please register via URL/QR
・Deadline: pm12:00, June 30

https://forms.office.com/r/87BwvePamd

問い合せ：国際教育交流センター教育交流部門
城所: kidokoro@iee.nagoya-u.ac.jp

理工系留学生のための
個別キャリア相談

Individual Career Consultations
for Engineering & Technical International Students

キャリアカウンセラー：
坂口 真美

Career Counselor:
Mami SAKAGUCHI

開催日 Date

9月24日（金）

Friday, September 24

時間枠 Time slots

10:00～　11:00～　12:00～
14:00～　15:00～

参加予約 Appointments

工学部国際交流室／Engineering IAEO

Dina GRIB　grib@nagoya-u.jp

“進路を考えるときに最も大事なことは自分を理解することです。過去から現在をとらえ、将来につなげましょう。今こそ、そのための時間と労力をかけるときです。皆さんそれぞれが望む将来像に近づくためにサポートします！”

※　工学部・工学研究科と環境学研究科の学生が対象
For student affiliated to the School/Graduate School of Engineering and Graduate School of Environmental Studies

Online

工学部・工学研究科

国際交流会

SCHOOL & GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING

INTERNATIONAL FRIENDSHIP HOUR

学生、研究員、教職員が対象。
飲み物やスナックを片手に日本人学生や先輩留学生と気軽にネットワーキングしましょう。

We invite students, researchers, faculty and staff.
Let's meet Japanese and senior international students,
ask for their advice,
make new friends!

10月27日(水)
18:00-19:00
on Wednesday, October 27

18:00 – 18:10　国際交流室による挨拶
18:00 – 18:30　先輩による体験談
18:30 – 19:00　少人数グループで交流

18:00 – 18:10　Opening address by IAEO
18:10 – 18:30　Talk by senior students
18:30 – 19:00　Discussions with senior students and advisors in small groups

参加登録
Register from

https://forms.gle/G2k4RfWYYDNhXK7B8

工学研究科国際交流室主催
Organized by the International Academic Exchange Office

http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/

名古屋大学
キャリアサポートセンター主催

学生のみなさんへ　企業の皆様へ　データ集　NU-NAVI　MENU

理工系のキャリアデザイン&
就活スタートガイダンス

Guidance on Career Design & Job hunting for Engineering students

10月20日（水）
12:00～13:00
Wednesday, October 20

✓ キャリア形成プロセス

✓就職活動の流れと準備
- 学生生活の「充実」
- 日本語力向上
- 企業の探し方
- インターンシップ

✓ 留学生のための名大からの支援

✓工学研究科M2内諾者の体験談も！

✓ Career planning

✓ Job Hunting in Japan
- Fulfilling student life
- Brushing up your Japanese
- Information-gathering
- Internships

✓ About NU on-campus support

✓Guest talk by M2 student！

参加登録 Register from https://forms.gle/qB62nhXNbenRAFLz8

問合せ先 Should you have any questions, feel free to contact：
工学部国際交流室 Engineering IAEO, Dina GRIB grib@nagoya-u.jp

APPLY

理工系留学生のための
進路・就職・キャリア形成支援
Job-hunting and Career Planning
for STEM International Students

コロナ禍の就活を勝ち抜くセミナー
JOB HUNTING STRATEGIES IN THE AGE OF COVID-19

オンライン開催．英訳付き.
Delivered online with English translation.

- ✓Changes in job hunting under COVID-19
- ✓ Companies & job types
- ✓ HR’s expectations
- ✓Online interview strategies
- ✓Entry sheet preparation workshop

- ✓コロナ禍の就職活動
- ✓業種・企業・職種の選び方
- ✓企業に求められること
- ✓オンライン面接のコツ
- ✓ESの書き方練習

10月26日（火）
18:00～19:30
Tuesday, October 26

講師：　坂口 真美 先生(キャリアカウンセラー)
Lecturer: Mami SAKAGUCHI (Career Counselor)

“進路を考えるときに最も大事なことは自分を理解することです。
過去から現在をとらえ、将来につなげましょう。
今こそ、そのための時間と労力をかけるときです。
皆さんそれぞれが望む将来像に近づくためにサポートします！”

参加登録 Register from： https://forms.gle/qB62nhXNbenRAFLz8

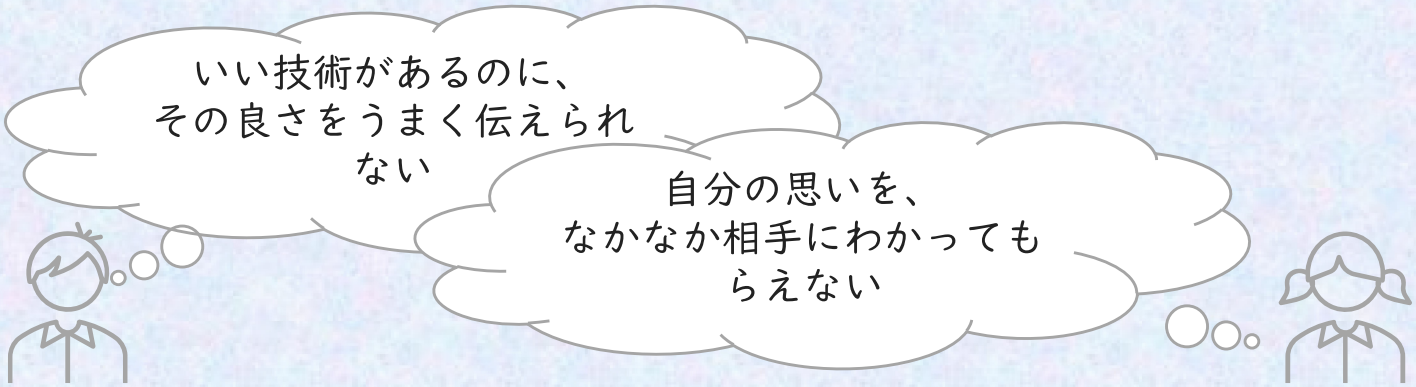
問合せ先 Should you have any questions, feel free to contact：
工学部国際交流室 Engineering IAEO, Dina GRIB grib@nagoya-u.jp

APPLY

理工系留学生のための
進路・就職・キャリア形成支援
Job-hunting and Career Planning
for STEM International Students

11月13日（土）
13:00～14:30
Saturday, November 13

セルフブランディング講座
Personal Branding Workshop



こんなお悩みに答えるのは、自分の姿を思い通りに相手に伝えるための技術、「セルフ・ブランディング」です。

就活や発表などに役立ちますので、
理系の学生さんにこそ、必要な内容だと感じます。
講座内で、あなた自身の専門性や、個性をハッキリさせ、相手に伝わりやすい形にまとめます。日本語で行いますが、言語の壁を超えて、「思いが伝わる楽しさ」を感じていただきたいと思います。
ぜひお気軽にご参加ください！

ブランドコンサルタント　守山　菜穂子　先生

参加登録 Register from： https://forms.gle/qB62nhXNbenRAFLz8

問合せ先 Should you have any questions, feel free to contact：
工学部国際交流室 Engineering IAEO, Dina GRIB grib@nagoya-u.jp

大同メタル工業株式会社
Daido Metal Co., Ltd.

テキスト

11月24日(水)
10:30～11:30
on November 24

Let's learn and experience the real-life Japanese production culture from the comfort of our rooms!
普段は見られない本物の日本の物造りの場を拝見して、社員の方と話す貴重な機会です。

参加登録／Register from: https://forms.gle/3g9Kcxdxs19LJjG68

問合せ先 Should you have any questions, feel free to contact：工学部国際交流室 Dina GRIB grib@nagoya-u.jp

理工系留学生のための
進路・就職・キャリア形成支援
Job-hunting and Career Planning
for STEM International Students

11月22日(月)

14:45～16:45

工学3号館
Eng. bldg.#3

グループディスカッション対策講座

Group discussion Workshop

- グループディスカッションとは
- 種類別対策とコツ
- 日本語力が不安でも自己アピール
- 模擬ディスカッション

使用言語：原則日本語、but you are welcome to use English in discussions.

参加登録/Register from: https://forms.gle/tabzmrZ5Vvp4ZBnn6

※　定員8名に達し次第、受付を終了いたします
The application will be closed as soon as the number of participants reaches 8

理工系留学生のための
個別キャリア相談

Individual Career Consultations
for Engineering & Technical International Students

開催日
Date

12月13日（月）

Monday, December 13

時間枠
Time slots

10:00～　11:00～　12:00～
14:00～　15:00～

キャリアカウンセラー：
坂口 真美

Career Counselor:
Mami SAKAGUCHI

参加予約　Appointments：

https://forms.gle/E7rspppujlc7lkf9A

“進路を考えるときに最も大事なことは自分を理解することです。過去から現在をとらえ、将来につなげましょう。今こそ、そのための時間と労力をかけるときです。皆さんそれぞれが望む将来像に近づくためにサポートします！”

※　工学部・工学研究科と環境学研究科の学生が対象
For student affiliated to the School/Graduate School of Engineering and Graduate School of Environmental Studies

MAKE NEW STANDARDS. 東海国立大学機構 | NAGOYA UNIVERSITY | NHK WORLD JAPAN

Get to Know More about Disaster Preparedness

Information is Your Best Defense!

- Ready-to-use tips by NHK WORLD-JAPAN
- Flyer-creating WORKSHOP

Dec. 17th Friday

18:15 – 19:30 pm

via Zoom

Registration is required.
Scan the QR code to access the form.

The session will be conducted in English.

https://forms.gle/WaS7jWrhjJvPMKh76

Presented by :
The International Student Disaster Resiliency Project
and
NHK WORLD-JAPAN

For Inquiries : Emanuel Leleito (leleito@nagoya-u.jp)

Official App

NHK WORLD-JAPAN is the international service of Japan's public media organization, NHK.

NHK WORLD JAPAN

OPEN MIC

対面開催！

将来、研究・教育職での
キャリアを目指すなら

3分間で
自分の研究を
話してみよう

途中からの参加や、
途中退室もOK！

＜こんな力を鍛えます＞

- 自分の研究内容を第三者に分かり易く伝えるプレゼン力
- 自分の研究を客観的に分析する力
- 他分野の学生との交流を通じて視野を広げる

＜お申込み方法＞

- 対象：全ての名古屋大学学生
- 聞くだけの参加もOK
- 下記のQR/ URLから事前登録ください

https://forms.office.com/r/kfczwymxYn

＜Open Micの進め方＞

1. 専門用語を使わずに、１人3分間で自分の研究を説明してみる
2. スライドの利用もOK！
3. 人の発表を聞いてコメントしてみよう

＜発表にはこんな点を入れてみよう＞

- 現在取り組んでいる研究内容
- その研究テーマを選んだ理由
- 研究の中で直面している課題
- その研究は社会にどう貢献できるか、どんな働きかけができるか
- 自分の研究のオリジナリティ、面白さ

12月の開催予定

・日本語
12.15(水)　16:30-17:30
開催場所：CALEフォーラム
モデレーター：曾 剛
（工学研究科）

・英語
12.22(水)　16:30-17:30
開催場所：CALEフォーラム
モデレーター：グリブ　ディーナ
（工学研究科）

名古屋大学国際教育交流センター　教育交流部門

今だからこそ、気持ちを川柳に託して
葛藤や悩みを笑いで吹っ飛ばそう
Laugh the stress away with the
healing power of humor poetry!

第二回 名古屋大学多文化共生川柳コンテスト

Nagoya University Intercultural Human Haiku Contest 2021

■ 応募資格：
Eligibility:
誰でも応募可能
Everyone is welcome to apply

■ 応募締切：
Deadline:
2022年1月21日17:00(JST)
17:00 (JST) on January 21, 2022

■ 応募枠：
Application Category:
個人枠、留学生枠、リレー枠
Individual, international student, collaborative

■ テーマ：
Topics：
2021年の感想、2022年への抱負、研究・学習・留学、その他
Memories of 2021 / New Year's resolutions /
Research & Classes / Free topic

■ 応募方法：
Application
HPからオンライン応募
is available from webpage.

https://senryu-contest.weebly.com/

主催：名古屋大学国際機構国際教育交流センター教育交流部門
協力：名古屋大学文学部国際化推進室、名古屋大学工学部国際交流室

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

大連理工大学
名古屋大学
交流五周年
記念式

ANNIVERSARY

DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY
NAGOYA UNIVERSITY

2022年１月６日（木）

日程

第一部：１０：００～１１：００

両大学総長・学長挨拶

在名古屋中国領事館、在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所　挨拶

両大学の教員、学生によるこれまでの交流の振り返り

第二部：１１：００～

両大学の国際交流プログラムの紹介

在大連日系企業による現地の紹介

（株式会社ジェイテクト 現地役員）

（プログラムの詳細）

中国への留学、交流、海外での就職に興味のある方はぜひご参加ください。

ZOOM MEETING
ID:934 0740 9665
パスワード：20220106

対象：本学学生・教職員（事前登録不要）
問合せ先：教育推進部国際連携課
intl@adm.nagoya-u.ac.jp

理工系留学生のための
進路・就職・キャリア形成支援
Job-hunting and Career Planning
for Engineering & Technical International Students

日本の企業で生き残るビジネスマナー講座

Business Etiquette and Business Communication in Japan

Online

1月21日（金）
16：30～18：30
Friday, January 21

社会人に必要なマナーのコミュニケーション基礎
（例）　挨拶、お辞儀、身だしなみ、心構え、言葉遣い

The basics of business etiquette and communication you need to survive in a Japanese company:
greeting, bowing, grooming, attitude, language, etc.

＜昨年同セミナーの様子＞

講師：　坂口 真美（キャリアコンサルタント）
Lecturer:　Mami SAKAGUCHI (Career Consultant)

参加登録/Register from:　https://forms.gle/uvKKQ5orWzwBHJ5KA

※　定員8名に達し次第、受付を終了いたします。
The application will be closed as soon as the number of participants reaches 8

Apply

Dear International students,

Just like last month, the international student advisors at the Graduate school of Engineering would like to get together informally with international students via zoom for a chat.

We plan to do this during lunch time on the
first four Thursdays in the month of March.
Here is more information:

Name of the gathering:	Let's get together informally via zoom
Target attendants:	international students in the School/Graduate School of Engineering
Date and time:	March 3, 10, 17 and 24 (Thursday) from 12 noon to 1 pm (Please feel free to be late and join us any time)
What to bring:	nothing in particular, but if you prefer having your lunch, your own lunch and/or drink

Bored of eating lunch alone?
Wanting to get acquainted with other international students?
Looking for information on the university?
Searching for information on Nagoya city?
Having specific questions to ask the international student advisors?
Interested in finding out about sightseeing spots in Japan?

Even though spring is on the way, you may still be busy with your research, but please take a break and join us.

We welcome all internationals students in Engineering.

Best regards,
International student advisors
Reiko Furuya,
Gang Zeng, Emanuel Leleito, Grib Dina

理工系留学生のための

個別キャリア相談

Individual Career Consultations

for Engineering & Technical International Students

開催日
Date

2月8日（火）

Tuesday, February 8

時間枠
Time slots

10:00～　11:00～　12:00～

14:00～　15:00～

キャリアコンサルタント：
坂口 真美

Career Consultant:
Mami SAKAGUCHI

参加予約　Appointments：

https://forms.gle/E7rspppujlc7lkf9A

“進路を考えるときに最も大事なことは自分を理解することです。過去から現在をとらえ、将来につなげましょう。今こそ、そのための時間と労力をかけるときです。皆さんそれぞれが望む将来像に近づくためにサポートします！”

※　工学部・工学研究科と環境学研究科の学生が対象

For student affiliated to the Scholl/Graduate School of Engineering and Graduate School of Environmental Studies

理工系留学生のための
個別キャリア相談

Individual Career Consultations
for Engineering & Technical International Students

キャリアコンサルタント：
坂口 真美

Career Consultant:
Mami SAKAGUCHI

開催日 Date

2月28日（月）、3月4日(金)

February 28 & March 4

時間枠 Time slots

10:00～　11:00～　12:00～

14:00～　15:00～

参加予約　Appointments：

https://forms.gle/E7rspppujlc7lkf9A

“進路を考えるときに最も大事なことは自分を理解することです。過去から現在をとらえ、将来につなげましょう。今こそ、そのための時間と労力をかけるときです。皆さんそれぞれが望む将来像に近づくためにサポートします！”

※　工学部・工学研究科と環境学研究科の学生が対象
For student affiliated to the Scholl/Graduate School of Engineering and Graduate School of Environmental Studies

SPEAKING WRITING

2021 SEMINAR 2

スピーキング ライティング 講座

工学部・工学研究科の学生向けに自由参加型の「英語力強化講座」（単位認定対象外）を開講しています。本講座は学生の英語力全般（Reading、 Listening、 Speaking、 Writing の4技能）が大きく強化されることを目標としていますが、個人では勉強しにくいスピーキングとライティングを中心に構成しています。名古屋大学大学院工学研究科国際交流室教員とIELTS試験講習の専門家が、IELTS※1の学習方法や対策が身につくよう指導します。さらに、講座後も自立して英語学習できるようにノウハウを伝授します。

今なぜ・どこで英語力が必要なのか

学業

大学では、英語論文の読み書き、英語での授業の聴講や討論等にはアカデミック英語のスキルが必要です。また、学部卒業時にはTOEFL ITP® 550点以上が期待されます。

企業

国内外のグローバル企業や研究機関で活躍するには、ビジネス英語運用能力が重要であり、議論や交渉、技術関連英語資料や論文の読み書き、そして英語でのプレゼンテーションを行うスキルが求められます。

留学

海外大学への交換留学や大学院留学をするには、英語の 4技能 （Reading、Listening、Speaking、Writing ）が問われる TOEFL-iBT（80以上）またはIELTS（6.0以上）※1 の高得点 が求められます。

国際交流

海外の旅先でのコミュニケーションはもちろん、学内でも日本語力が十分でない留学生（国際プログラム学生や交換留学プログラム学生等）が増えており、日常英会話力が期待される場面が多くなっています。

※1：TOEFL iBT®とIELTS について

- 英語圏の大学では、留学申請の際の英語力要件として、TOEFL iBT®またはIELTSのスコア提出が一般的。
- **TOEFL®**：米国非営利教育団体であるEducational Testing Service(ETS)により開発されたテスト(米国英語がベース)。当初は、writing、speaking 能力が含まれないpaper-based test (TOEFL PBT)として実施されたが、米国大学からの要求でwriting、speaking 能力も測るinternet-based test (TOEFL iBT®) が現在の公式版となっている。入学時に受けたTOEFL ITP®（TOEFL Institutional Test Program）は、教育機関(Institution) 内向けの非公式テストとして提供され、TOEFL-PBTとほぼ同じ内容のもの。従って、writing、speaking 能力は測られない。
- **IELTS**：British Council（英国文化振興会）等で運営されている英語版テスト。TOEFL iBT®と同様にwriting、speaking 能力の評価が含まれる。
- ETS基準ではTOEFL ITP® 550 はTOEFL iBT®80またはIELTS 6.0と同じレベルですが、Speaking/Writing力に苦労する日本人学生の多くは、TOEFL PBT 550でも、TOEFL iBT® 60～70 (IELTS 5.0 ～ 5.5)相当が現状と言われています

☑ 2021後期開講セミナー 参加者募集中

本講座に興味のある学生は次頁にある情報を確認の上、申込リンクのフォームに必要な情報の登録をお願いします。

お問合せ: 名古屋大学大学院工学研究科・国際交流室 レレイト・エマニュエル Tel: 052-789-3101 email: leleito@nagoya-u.jp

2021 後期開講セミナー参加者募集

日程・場所　Schedule & Venue

2021年11月30日～2022年03月08日

- 英語講座：火曜日　18:15 ～ 19:45、（全10回、15時間）＋ その他必要に応じた個別指導の時間
- 場所: オンラインで実施予定

11月 12月 1月	火	**11月**：30日（第1回）、 **12月**：7日（第2回）、14日（第3回）、21日（第4回）、 **1月**：11日（第5回）
		※必要に応じて「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施する（日時の調整は毎回必要）
2月 3月	火	**2月**：08日（第6回）、15日（第7回）、22日（第8回）、 **3月**：01日（第9回）、08日（第10回）
		※必要に応じて「Academic Writing & Presentation」勉強会を実施する（日時の調整は毎回必要）

- **ガイダンス**：2021年11月30日（火）の初講座中に5分程度のガイダンスを実施予定
- **派遣留学説明会**：令和３年度後期の派遣留学説明会の日程は後日連絡

講座申込方法 Application Method

- ☑ 必要な情報：Email、名前、学籍番号、所属専攻、IELTS/TOEFL/TOEIC等のスコア
- ☑ 申込期間：**2021年10月12日（火）～ 2021年11月16日（火）**
- ☑ 申込リンク：**https://forms.gle/HEA5FouZHVSpQVgH8**
- ☑ 受講の可否の連絡：**2021年11月23日（火）**
  ※個別にEmailにて連絡
- ☑ **定員**：30名程度
  - ☞ 本勉強会は小人数で行うため、申込者が定員を超えた場合は、登録した方から抽選にて受講者を決定しますので御了承ください。
  - ☞ 受講者は日本人学生に限りません（留学生の参加も歓迎します）。
  - ☞ 海外留学に意欲があり、授業以外に英語力強化のための自主勉強に取り組む強い意欲を持っている学生の参加を期待します。

申込QR コード

費用　Fees

- ***3,000円***（税込み）
  IELTS専門家15時間指導分、ライティング添削、教材、等
  ※価格参考例：外部でのIELTS対策講座の15時間コースの受講料は約40,000円。
- **支払い期限**：受講の可否の連絡後、**11月29日（月）までに後日指定する口座に入金すること**。この日までに入金が確認されない場合はキャンセルとみなします。

お問合せ: 名古屋大学大学院工学研究科・国際交流室　レレイト・エマニュエル　Tel: 052-789-3101　email: leleito@nagoya-u.jp

スピーキング・ライティング　SPEAKING & WRITING

理工系留学生のための
進路・就職・キャリア形成支援
Job-hunting and Career Planning
for Engineering & Technical International Students

Online

工学OBOG座談会シリーズ
Engineering Alumni Exchange Sessions

Our Guests

3/12
14:00～15:30

★ 自動車工学MC修了→大手自動車メーカに勤務のOB

G30 Automotive Engineering MC Alumnus who works at a Japanese multinational automobile manufacturer

Language: English
＊Q&Aは日英

3/19
13:00～14:30

★ 土木工学MC修了→総合建設コンサルタントに勤務のOB

Civil Engineering MC Alumnus who works at a Construction Consultant Company

使用言語：日本語
Q&A: ENG, JP, CN

3/26
13:00～14:30

★ 土木工学DC修了→総合建設コンサルタントに勤務のOG

Civil Engineering DC Alumna who works at a Construction Consultant Company

★ 機械システム工学MC修了→大手電機メーカーに勤務のOG

Mechanical Systems Engineering MC Alumna who works at a Japanese multinational electronics company

参加登録 Register from：

https://forms.gle/TSbdJTN9KDnxbCYq6

スピーチ動画の提出〆切　2022/3/3㈬　13:00

テーマ：“Riding a wave of …”

「○○の波に乗って」のキーワードは、研究／コロナ／電波／雪／技術／等々、ご自由にお決めいただきます。困難を乗り越える意気込みや実体験、学生生活を満喫するノーハウを分かち合ってみませんか。

参加資格：名古屋大学工学部・工学研究科の在籍生

・英語圏における在住経験が12か月以上の方は除く

参加するメリット

・英語母語話者のピアーサポートが受けられる（先着16名。1人あたり最大5時間まで。）
・スピーチ内容、プレゼンカ、発音、文法に対して、審査員のコメントがもらえる
・優勝者は全10回IELTS対策講座に無料で参加でき、参加者全員が表彰状と記念品がもらえる
＊　就活に使えるエピソードはコロナ禍で限られてきたが、ネタ作りにでも！

参加方法

・5分以内のスピーチの動画を　2022年3月3日(水)13:00【日本時間】　までに登録フォーム　https://forms.gle/EFNE2QMTyyQJjIRCA　から提出すること
・英語母語話者のピアーサポートを希望する場合は、2022年1月19日(水)13:00までに事前登録を済ませること

問い合わせ先：工学部国際交流室　グリブ　ディーナ
grib@nagoya-u.jp ， 052-789-3179 ， 工学部3号館南棟579号室

編集後記

令和 3 年度 国際交流室の活動は、新留学生のオリエンテーションと面談、在籍留学生の支援、在籍生向けの講義、名大生向けの派遣留学説明会、国際交流会等を行ってまいりました。また、オンライン出願システム NU-AAS による私費外国人研究生の受入選抜業務、協定校学部生の短期受入プログラム、留学生を対象とした防災教育、科学技術英語ライティング教育、留学生のキャリア形成支援、留学生リクルーティング活動を適宜オンライン開催に移行しながら継続的に実施しました。詳細については、留学生担当教員の各報告をご参照願います。

令和 3 年度は、引き続き新型コロナウイルスの世界的流行の影響で多くの対面イベントをオンラインへ移行せざるをえなかったり、国境を越えた国際交流の規模縮小を余儀なくされたりする状況下、留学生支援業務および対面による国際交流の重要性をあたらめて認識できました。国際交流室一同、オンライン通信技術などの手段を最大限に活用しながら、ポストコロナに適した国際交流を推進してまいりますので、教職員の皆様方、関係者各位のご協力とご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆になりますが、ご多忙中にもかかわらず本室報の執筆依頼を快くお引き受けくださった教職員の方々に厚く御礼申し上げます。

2022 年 10 月

留学生専門教育担当教員 グリブ ディーナ
留学生専門教育担当教員 曾 剛

名古屋大学工学部・大学院工学研究科国際交流室報
発行年月 2022 年 11 月
発行 名古屋大学・大学院工学研究科 学生支援・国際交流委員会
編集 名古屋大学・大学院工学研究科 国際交流室

GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING NAGOYA UNIVERSITY
Nagoya University
Since 1939